

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書 (工事)

契約番号 : 8119

件名	海老名市医療センター外装改修工事	
履行場所	海老名市さつき町 41 番地	
工期	令和 8 年 6 月 17 日～令和 9 年 2 月 12 日 (241 日)	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり	
予定価格	120, 120, 000 円 (税込)	109, 200, 000 円 (税抜)
最低制限価格	有り (開札後算定型) 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
落札候補者の入札金額が、調査基準価格 (70%) 未満の場合 ※ただし、予定価格 (税込) 100 万円以下の案件は除く。	契約締結にあたっての制限等 <ul style="list-style-type: none">○ 技術者と現場代理人の兼務不可 ※前年度の工事評定平均が「B (75 点)」以上である場合は除く。○ 技術者及び現場代理人の他案件 (本市入札案件) との兼任不可 ※技術者等の兼任制限が解除されている場合でも不可○ 前払金の制限 (金額上限、中間前払金の制限など) 契約金額の 20% 以内 (海老名市契約規則により、前払金が適用となる場合に限りませう。) ※前払金の上限金額は 5, 000 万円以下。中間前払金の支払いはありません。 契約保証 <p>契約金額の 30% 以上に相当する次のいずれかの手続きが必要です。 ※現金納付及び実績による免除はありません。 (ア) 金融機関又は保証事業会社の保証 (イ) 公共工事履行保証証券による保証 (履行ボンズ) (ウ) 履行保証保険契約の締結 (定額てん補)</p>	
入札方法等	条件付一般競争入札 (電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参加条件	営業種目	020 建築一式 又は 170 塗装 経審 700 点以上 - 点未満 ※経審は最新の評価点で判断します。	○下請契約の請負代金の合計の額が 5 千万円 (建築一式工事の場合は 8 千万円) 以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第 4 区分	第 1・第 2 区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険 (健康保険、厚生年金保険及び雇用保険) に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く 本市発注の建築一式又は塗装工事において、過去 5 年間、工事評定で 6 5 点未満の工事が無いこと。	
	落札件数制限	なし	
配置技術者等の兼任について	本案件に配置する主任 (監理) 技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。		
事前提出書類 (システム添付)	参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。		

	<p>○告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していることを証する書類の写し。（次の（1）～（3）のいずれか）</p> <p>（1）経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書（経営事項審査）の写し <u>※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u></p> <p>（2）<u>（同通知書発行後に社会保険に加入した場合）</u>健康保険、厚生年金保険及び労働（雇用）保険料の領収書の写し</p> <p>（3）<u>（法令に基づき社会保険適用を除外されている場合）</u>健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書</p>
<p>入札時提出 （システム添付）</p>	<p>○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書(工事入札時システム添付)」をダウンロードして使用してください。<u>システムへはPDF化して添付してください。</u></p>
<p>落札候補者が 提出する書類 （FAX046-232-6574）</p>	<p>開札後、落札候補者は次の書類をFAXで提出してください。 （落札候補者決定の翌開庁日午前10時まで。詳細は開札後FAXで通知します。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類

海老名市医療センター外装改修工事


内容説明事項書

海 老 名 市

1. 工 事 名 称 海老名市医療センター外装改修工事
2. 工 事 場 所 海老名市さつき町41番地
3. 工 事 概 要 海老名市医療センターの経年劣化に伴い、外装、防水改修工事等を行うもの。
 ■ 工事内容(受水槽置き場共)
 ・直接仮設工事
 ・防水改修工事(ウレタン塗膜、遮熱塗料、ドレン等)
 ・外壁改修工事(劣化部補修、アクリルシリコン、可とう形外装薄塗材Si等)
 ・建具改修工事(アルミ建具、シーリング 打替え)
 ・内装改修工事(一部壁、天井張り替え)
 ・塗装改修工事(EP塗装、DP塗装)
 ・環境配慮改修工事(集塵装置付超高压水洗工法)
 ・発生材処理
4. 工 事 期 間 令和8年6月17日 から 令和9年2月12日 まで
5. 設 計 図 書 上記諸条件に依る見積に必要な図書は下記とする
 (1)設 計 図 23 枚
 (2)内容説明事項書(本書・環境配慮マニュアル) 5 枚
6. 数 量 書 (1)数 量 書 19 枚
 ※数量書は、発注者の積算の透明性、客観性、妥当性を確保し、入札参加者等の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に参考数量として公表するものである。
7. 法 令 の 遵 守 本工事の実施に当たり、建築基準法、消防法、その他各関係法令・規則等を確実に遵守すること。
8. 官 公 署 手 続 官公署手続きは、全て受注者の責任と負担に於いて行うこと
9. その他の事項

項 目	適 用	内 容	備 考
(1)事業区分			
①事業区分	<input type="checkbox"/> 補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単事業		
(2)工事監理体制			
②工事監理体制	<input checked="" type="checkbox"/> 市担当者 <input type="checkbox"/> 外部委託者		
(3)工程関係			
①工期内施設利用	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		休日診療等医療活動に支障がないよう、安全対策を施し、各関係者の安全確保を図ること
②関連工事、その他工事	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	防犯カメラ設置工事	
③施工時期の制限	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		日曜、祝日は原則休工とする
④施工時間の制限	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		施設運営に支障のないよう留意すること
⑤協議未成立事項	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	景観条例	監理者の指示のもと、色見本板等の作成に協力すること

項目	適用	内容等	備考
(4) 仮設関係			
①仮設計画	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	図示 (仮設計画図による)	受注者において、発注図の仮設計画図を参考に作成し、事前に施設管理者及び市担当者等の承諾を受けること
②交通誘導員	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
③工食用電力、水の利用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	受注者対応	
④濁水・湧水処理における特別な対策等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
(5) 支給品			
①支給品について	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
(6) 建設副産物関係			
①建設発生土	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
②建設副産物 建設廃棄物	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	安定型混合廃棄物、木くず、石綿含有外壁塗材(レベル ³⁾)	
③その他 (特別産業廃棄物等)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
(7) 各種調査、使用制限			
①各種調査	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	特記仕様書による	アスベスト粉じん濃度測定 室内空气中化学物質濃度測定
②使用制限 関係法令、規則等を遵守するのは当然のこと右記事項にも配慮すること	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	揮発性有機化合物等	本工事に使用する材料は、揮発性有機化合物等の放散しないもの又は放散量の少ないものを使用すること(F☆☆☆☆使用)
(8) 現場対応			
①現場照査等	事前調査を十分に行い、不明確な部分は工事打合簿により施工前に監理受託者及び市監督員と協議し、確認をとること		
②公衆災害	本工事における振動・騒音・粉塵・悪臭等については、特に注意し、付近住民とのトラブルについては、受注者の責任において解決すること		
③原形復旧	工事範囲内の備品類の移動及び養生、清掃については、受注者の責任において実施し、工事後は原形に復すること		
(9) その他			
①適用基準等	<input checked="" type="checkbox"/> 海老名市ホームページ「海老名市公共工事共通事項書」適用図書による <input type="checkbox"/>		
②工事完成図書	<input checked="" type="checkbox"/> 海老名市ホームページー検査担当からのお知らせ 「18 工事関係様式」内、工事提出書類チェックリストによる <input checked="" type="checkbox"/> 海老名市ホームページー営繕課担当事務 「海老名市営繕工事 工事提出書類作成等の手引き」による		
③海老名環境マネジメントシステム	市では、海老名環境マネジメントシステムの運用に伴い、「公共工事環境配慮マニュアル」が適用となった。よって本工事では、その環境配慮マニュアルに基づき別紙の項目で対象となる作業について環境配慮に努めること		
④法定外の労災保険の加入	本工事において、受注者は法定外労働災害補償制度（法定外の労災保険）に加入すること。また、受注者は保険契約を締結したときは、発注者にその証券等を提示すること		
⑤施工数量調査	数量書の外壁補修数量は設計想定数量であるため、施工数量調査を実施のうえ、調査結果報告書を提出すること。		
⑥使用単価	令和8年3月から適用する公共工事設計労務単価（国土交通省）を適用して積算している		

 公共工事において配慮すべき環境要素

海老名市の公共工事において配慮の対象とすべき環境要素は、以下の一覧表のとおりとする。これらの環境要素は、工事施工過程の環境負荷の低減はもとより、公共工事の成果として地域及び地球環境に有益な影響が得られるためには不可欠なものである。

環境要素一覧表

大分類	中分類	小分類
1 地域の自然環境・景観	(1)緑	①自然林、草原など面的な広がりを持つ緑
		②堤防、土手、法面、並木などの樹林帯又は草原など線的な連続性を持つ緑
	(2)地形・地質	その場所本来の地形・地質とそれに依拠する生態系
	(3)水辺	河川や水路などとその堤敷及びそれに依拠する生態系
	(4)動植物	現にその土地に生息するか、又は最近まで生息していた動植物
	(5)歴史的遺産	①地表に存在する文化財、遺跡等
②埋蔵文化財		
(6)景観	①その土地の現在の景観	
	②その土地に現在ある眺望地点とそこからの景観	
	③道路等、都市基盤施設がもたらす景観	
2 地球環境	(1)資源	①石油類・金属・水・岩石等の鉱物資源
		②木材等の森林資源
	(2)大気	①公園、屋外体育施設又は工事などで発生する砂塵による迷惑を考慮すべき局地的な大気環境
		②自動車の排ガス、ごみ焼却施設からのダイオキシン等による汚染を考慮すべき地域的な大気環境
		③フロンガス、二酸化炭素等の放出による影響を考慮すべき地球規模の大気環境
	(3)水質	①公園、屋外体育施設、駐車場などの排水の影響を受ける水系
		②土地の改変等による濁水等の影響を受ける水系
③土木工事により影響を受ける地下水		
(4)土壌	畑、水田、砂利道等のほか舗装されていない剥き出しの地面	
(5)建設副産物	①排出土	
	②コンクリートガラ	
	③アスファルトガラ	
	④伐採材	
	⑤まだ使用可能な製品	
	⑥鉄骨・鉄筋・その他の金属類の切りくず	
⑦不要木材		
⑧PCB等の毒性物質		
⑨その他の建設廃材		
(6)熱帯林	コンクリート型枠などに使用され、減少を続ける熱帯林資源	
3 生活環境	(1)騒音	①工事作業機械の稼働による騒音
		②工事用車両走行による騒音
		③公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設での騒音
		④施設の空調機等電気・機械設備の騒音
	(2)振動	①工事作業機械の稼働による振動
	②工事用車両走行による振動	
	(3)悪臭	しゅんせつ土等の悪臭
	(4)電波障害	大規模建築物による電波受信状態への影響
(5)日照障害	大規模建築物による日影時間への影響	
(6)地域生活環境	①公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設又は他の施設等の夜間照明により影響を受ける周辺住民の生活環境	
	②道路整備におけるルート又は道路構造による地域分断	
	③歩道若しくは道路横断施設又はその他の公共施設等における高齢者・障害者の安全な通行・歩行環境	
	④大規模建築物の駐車場等への出入り車両により影響を受ける交通の安全性	
	⑤工事車両の出入りにより影響を受ける交通の安全性	

□ 設計・施工時に配慮する事項

3. 建物建築・改修工事

作業	配慮事項	環境要素
工事全体	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。	3-(1)-①② 3-(2)-①②
掘削	排出土の発生を抑える設計を行う。	2-(5)-①
搬出土処理	極力現場内での利用を図る。	2-(5)-①
	搬出する場合は他の市内工事での有効利用を図る。	2-(5)-①
	排出土中に他の廃棄物が混入しないよう分別する。	2-(5)-①
地業	砂利地業では再生砕石を使用する。	2-(5)-②③
型枠	鋼製型枠の使用を検討する。	2-(6)
鉄骨・鉄筋	切りくず等のリサイクルに努める。	2-(5)-⑥
金属類	切りくず等のリサイクルに努める。	2-(5)-⑥
木材	集成材の使用を検討する。	2-(1)-②
雨水排水	雨水の集水桝に浸透型を使用する。	2-(3)-③
内装	石膏ボードはリサイクル製品を使用しない（廃棄処分時に有害物質が発生する）。	2-(5)-⑧
	壁紙等はリサイクル製品を使用する。	2-(1)-②
	ホルムアルデヒド等の低使用製品を使用する。	2-(5)-⑧
断熱	冷暖房施設の省エネのため、断熱構造とする。	2-(1)-① 2-(2)-③
工事作業機械・車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
	排ガス規制に適合した作業機械・車両（ディーゼルエンジン）を使用する。	2-(2)-②
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-①② 3-(2)-①② 3-(6)-⑤
	道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

令和8年度

数量書

工事名称 海老名市医療センター外装改修工事

工事場所 海老名市さつき町41番地

工期 令和8年6月17日から令和9年2月12日まで

工事概要 海老名市医療センターの経年劣化に伴い、外装、防水改修工事等を行うもの。

■ 工事内容(受水槽置き場共)

- ・直接仮設工事
- ・防水改修工事(ウレタン塗膜、遮熱塗料、ドレン等)
- ・外壁改修工事(劣化部補修、アクリルシリコン、可とう形外装薄塗材Si等)
- ・建具改修工事(アルミ建具、シーリング打替え)
- ・内装改修工事(一部壁、天井張り替え)
- ・塗装改修工事(EP塗装、DP塗装)
- ・環境配慮改修工事(集塵装置付超高压水洗工法)
- ・発生材処理

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

本体建物		防水改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
屋根Y1 水洗い	15MPa	443	m ²			
屋根Y1 棟納め 水洗い	15MPa	23.4	m ²			
屋根Y1 軒先水切 水洗い	15MPa	12.1	m ²			
屋根Y1 クラバ [®] 包み 水洗い	15MPa	20.2	m ²			
屋根Y1 超速硬化 ウレタン塗膜防水	断熱複合工法 既存金属屋根面	443	m ²			
屋根Y1 棟納め 超速硬化 ウレタン塗膜防水	断熱複合工法 W=400+400 既存金属屋根面	29.2	m			
屋根Y4 高压洗浄・ 下地調整	高压洗浄30MPa、下地調整C-2	2.4	m ²			
屋根Y4 立上り 高压洗浄・ 下地調整	高压洗浄30MPa、下地調整C-2	1.3	m ²			
笠木K1 高压洗浄・ 下地調整	高压洗浄30MPa、下地調整C-2	3.3	m ²			
屋根Y4 塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタン [®] ム系 平面 表面塗装メカ標準色	2.4	m ²			
屋根Y4 立上り 塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタン [®] ム系 立上り 表面塗装メカ標準色	1.3	m ²			
笠木K1 塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタン [®] ム系 平面 表面塗装メカ標準色	3.3	m ²			
屋根Y5 高压洗浄・ 下地調整	高压洗浄30MPa、下地調整C-2	7.2	m ²			
屋根Y5 立下り 高压洗浄・ 下地調整	高压洗浄30MPa、下地調整C-2	1.6	m ²			
屋根Y5 塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタン [®] ム系 平面 表面塗装メカ標準色	7.2	m ²			

建築工事 細目別内訳

本体建物		防水改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
屋根Y5 立下り 塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタン [®] ム系 立上り 表面塗装メカ標準色	1.6	m ²			
軒樋R1 高压洗浄・ 下地調整	高压洗浄30MPa、下地調整C-2	48.4	m ²			
軒樋R1 立上り 高压洗浄・ 下地調整	高压洗浄30MPa、下地調整C-2	60.6	m ²			
笠木K1 高压洗浄・ 下地調整	高压洗浄30MPa、下地調整C-2	24.9	m ²			
笠木立下りK1 高压洗浄・ 下地調整	高压洗浄30MPa、下地調整C-2	11.8	m ²			
軒樋R1 塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタン [®] ム系 平面 表面塗装メカ標準色	48.4	m ²			
軒樋R1 立上り 塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタン [®] ム系 立上り 表面塗装メカ標準色	60.6	m ²			
笠木K1 塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタン [®] ム系 平面 表面塗装メカ標準色	24.9	m ²			
笠木立下りK1 塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタン [®] ム系 立上り 表面塗装メカ標準色	11.8	m ²			
庇H1 高压洗浄・ 下地調整	高压洗浄30MPa、下地調整C-2	78.8	m ²			
庇H1 塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタン [®] ム系 平面 表面塗装メカ標準色	78.8	m ²			
窓台M1 高压洗浄・ 下地調整	高压洗浄30MPa、下地調整C-2	52.8	m ²			
窓台M1 塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタン [®] ム系 立上り 表面塗装メカ標準色	52.8	m ²			
屋根Y3 清掃	既存アクリル [®] -面	54.7	m ²			
屋根Y3 トップコート遮熱塗料	既存アクリル [®] -面	54.7	m ²			

本体建物		外壁改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	タイル・モルタル塗替改修	1,622	m ²			
ひび割れ部補修	Uカットシール材充填 可とう性エポキシ樹脂 ひび割れ幅0.2～1mm以下	301	m			
欠損部補修	エポキシ樹脂モルタル充填	81	か所			
外巾木B1 水洗い	15MPa	30.2	m ²			
外巾木B1 下地補修		30.2	m ²			
外巾木B1 下地調整材	C-2 厚1～2mm程度 こて塗り 吹付け下地 コンクリート面	30.2	m ²			
外巾木B1 基礎巾木専用塗料	コンクリート面	30.2	m ²			
外壁G1 水洗い	15MPa	1,317	m ²			
外壁G1 下地補修		1,317	m ²			
外壁G1 下地調整材	樹脂系微弾性	1,317	m ²			
外壁G1 多彩模様 アクリルシリコン塗材	コンクリート面 化粧目地処理共	1,317	m ²			
外壁G2 水洗い	15MPa	17.6	m ²			
外壁G2 下地補修		17.6	m ²			
外壁G2 下地調整材	C-2 厚1～2mm程度 こて塗り 吹付け下地 コンクリート面	17.6	m ²			
外壁G2 アクリルシリコン塗材	コンクリート面	17.6	m ²			

建築工事 細目別内訳

本体建物		外壁改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外壁G3 水洗い	15MPa	20.7	m ²			
外壁G3 下地補修		20.7	m ²			
外壁G3 下地調整材	C-2 厚1～2mm程度 こて塗り 吹付け下地 コンクリート面	20.7	m ²			
外壁G3 樹脂モルタル成形		20.7	m ²			
外壁G3 アクリルシリコン塗材	モルタル面	20.7	m ²			
軒裏N1 水洗い	15MPa	236	m ²			
軒裏N1 下地補修		236	m ²			
軒裏N1 下地調整材	コンクリート面 屋内外 C-1	236	m ²			
軒裏N1 可とう形 外装薄塗材Si	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	236	m ²			
階段F1 水洗い	15MPa	49.4	m ²			
水洗い	15MPa 300角 セラミックテラコッタ飾り壁	42	か所			
打継目地シリング 打替え	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 40×10 撤去シリング 集積共	463	m			
誘導目地シリング 打替え	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 40×10 撤去シリング 集積共	298	m			
アルミフェンス 取外し・再取付	W1500×H2000	1	か所			
アルミフェンス 取外し・再取付	W2000×H2000	1	か所			

受水槽置き場		外壁改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	タイル・モルタル塗替改修	41.1	m ²			
ひび割れ部補修	シール工法 パテ状エポキシ樹脂 ひび割れ幅0.2mm未満	0.2	m			
ひび割れ部補修	カットシール材充填 ポリウレタン系 ひび割れ幅1mm以上	0.2	m			
外壁G4 既存劣化部撤去	既存タイル	8.2	m ²			
外壁G4 水洗い	15MPa	41.1	m ²			
外壁G4 下地調整材	C-2 厚1～2mm程度 こて塗り 吹付け下地 コンクリート面	41.1	m ²			
外壁G4 目地詰め		41.1	m ²			
外壁G4 樹脂モルタル成形		41.1	m ²			
外壁G4 防水形複層塗材E	モルタル面 ゆず肌状 ローラー 下地調整費別途	41.1	m ²			
水洗い	15MPa 館銘板タイル	0.5	m ²			
建具T1 建具廻りシーリング 打替え	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×10 撤去シーリング 集積共	4	m			
計						

本体建物		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生		1	式			別紙 00-0001
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	694	m ²			
養生(外壁改修)		237	m ²			
養生(内部改修)	複合改修	7.7	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0002
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	694	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		237	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	7.7	m ²			
計						

建築工事 別紙明細

本体建物		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外部足場		1	式			別紙 00-0003
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 22m未満 - -	143	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 22m未満 - -	1,649	m ²			
安全手すり(手すり 先行方式)	枠組本足場用	121	m			
外部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 一般 -	20.9	m ²			
養生防護柵		3	m			
計						
内部足場		1	式			別紙 00-0004
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 一般 -	7.7	m ²			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0005
防音シート張り	基本料 修理費含む	1,792	m ²			
計						

本体建物		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0006
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	143	m ²			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	1,649	m ²			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	121	m			
仮設材運搬 (外部仕上足場 脚立足場)	平家建	20.9	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	7.7	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		1,792	m ²			
仮設材運搬 (養生防護棚)	枠組本足場用	3	m			
計						

建築工事 別紙明細

受水槽置き場		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生		1	式			別紙 00-0007
養生(外壁改修)		26.6	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0008
整理清掃後片付け (外壁改修)		26.6	m ²			
計						
外部足場		1	式			別紙 00-0009
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 12m未満 - -	14.4	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 12m未満 - -	34.8	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用	13.3	m			
計						

海老名市医療センター外装改修工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A - 00	表紙・図面リスト	A - 16	建具キープラン
A - 01	建築工事改修特記仕様書 1	A - 17	建具表 1
A - 02	建築工事改修特記仕様書 2	A - 18	建具表 2
A - 03	建築工事改修特記仕様書 3	A - 19	建具表 3
A - 04	建築工事改修特記仕様書 4	A - 20	部分詳細図 1
A - 05	案内図・配置図	A - 21	部分詳細図 2
A - 06	仕上表、工事概要	A - 22	仮設計画図（参考）
A - 07	1階平面図		
A - 08	2・3階平面図		
A - 09	R階平面図、屋根伏図		
A - 10	北側・東側立面図		
A - 11	南側・西側立面図		
A - 12	受水槽置場立面図		
A - 13	矩計図		
A - 14	屋外階段平面詳細図		
A - 15	屋外階段断面詳細図		

特記仕様書	
I 工事概要	
1 工事名称	海老名市医療センター外装改修工事
2 工事場所	海老名市さつき町4 1 番地
3 用途地域等	都市計画区域(○内・外) 用途地域(第一種住居地域) 防火地域等(・防火・準防火・指定なし・22条) その他の地域・地区()
4 主要用途	急患診療所
5 敷地面積	1,381.937㎡
6 工事の概要	1. 外壁改修工事 2. 防水改修工事 3. 建具改修工事(建具廻りシーリングの打ち替え) 4. 塗装改修工事(鉄部等) 5. 環境配慮改修工事(アスベスト除去)
7 別途工事	
8 その他	
9 特記仕様書の範囲	特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。 ・ 構造特記仕様書 ・ 外構工事特記仕様書 ・ 植栽工事特記仕様書 ・ 解体工事特記仕様書 ・ 電気設備工事特記仕様書 ・ 機械設備工事特記仕様書

II 建築工事仕様	
1. 共通仕様	<p>図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。ただし、改修標準仕様書に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(最新版)」(以下「標準仕様書」という。)及び「建築物解体工事共通仕様書(最新版)」(以下「解体共通仕様書」という。)による。</p> <p>なお、その他施工条件は、別途本工事内容説明事項書による。</p> <p>2. 特記仕様</p> <p>1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○印と◎印のついた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の()、< >及び[]内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p>

章	項目	特記事項																																												
1	① 一般事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ◎ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ○ 施工体系図を現場に掲示すること。 ○ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤、擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 <p>調査範囲 ※ 図示</p>																																												
一般	② 適用基準等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 工事写真の撮り方(国土交通省大臣官房営繕部監修 最新版) ○ 建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房営繕部監修 最新版) ○ 海老名市公共工事共通事項書 																																												
共通	③ 工事実績情報(CORINS)の登録	<ul style="list-style-type: none"> ※ 適用する(請負精算額が500万円以上の場合) 受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。(請負額が2,500万円未満の場合は、受注時のみ) 適用しない 																																												
通	④ 発生材の処理等	<p>発生材の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引渡しを要するもの() ・ 特別管理産業廃棄物(外壁・軒裏:石調仕上塗材) 受入れ施設名・所在地(km) ・ 現場において再利用を図るもの() ・ 再生資源化を図るもの <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>受入施設名</th> <th>所在地(Km)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ コンクリート塊</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ アスファルト</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート塊</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 建設発生木材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ コンクリートから成る建設資材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・その他の廃棄物(安定型)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>受入施設名</th> <th>所在地(Km)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	受入施設名	所在地(Km)	備考	・ コンクリート塊				・ アスファルト				・ コンクリート塊				・ 建設発生木材				・ コンクリートから成る建設資材				・				種類	受入施設名	所在地(Km)	備考												
種類	受入施設名	所在地(Km)	備考																																											
・ コンクリート塊																																														
・ アスファルト																																														
・ コンクリート塊																																														
・ 建設発生木材																																														
・ コンクリートから成る建設資材																																														
・																																														
種類	受入施設名	所在地(Km)	備考																																											

1	一般	<p>・その他の廃棄物(管理型)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>受入施設名</th> <th>所在地(Km)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること</p> <p>PCB(ポリ塩化ビフェニール)含有機器</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有 ○ ・ 無 ○ <p>PCB含有シーリング材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有 ○ ・ 無 ○ <p>PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。</p> <p>アスベストの処理</p> <p>吹き付けアスベスト除去工事 ・有(図示) ・無</p> <p>受け入れ施設名・所在地(km)</p> <p>アスベスト含有保温材除去工事 ・有(図示) ・無</p> <p>受け入れ施設名・所在地(km)</p> <p>アスベスト成形板除去工事 ・有(図示) ・無</p> <p>受け入れ施設名・所在地(km)</p> <p>ヒ素又はカドミウム含有石膏ボードの処理</p> <p>ヒ素又はカドミウムボード ・有(図示) ・無</p> <p>・適用する ※ 適用しない</p> <p>工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、任意様式にもとづき「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。</p> <p>材料の品質等</p> <p>※ 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。</p> <p>特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>環境への配慮</p> <p>※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。</p> <p>※ ホルムアルデヒド仕様</p> <p>使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 の場合</p> <p>該当する建築材料</p> <p>1) JIS及びJASのF☆☆☆☆品</p> <p>2) 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品</p> <p>3) 次の表示のあるJAS適合品</p> <p>a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用</p> <p>b. 接着剤等不使用</p> <p>c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用</p> <p>d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</p> <p>e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用</p> <p>※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定</p> <p>試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法及び測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンブラー製造所の定める仕様により行う。</p> <p>測定対象物質</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>※ ホルムアルデヒド(濃度指針値)</td> <td>100 μg/m³</td> <td>・ 0.08ppm</td> </tr> <tr> <td>※ フォルムアルデヒド(濃度指針値)</td> <td>220 μg/m³</td> <td>・ 0.05ppm</td> </tr> <tr> <td>※ トルエン(濃度指針値)</td> <td>260 μg/m³</td> <td>・ 0.07ppm</td> </tr> <tr> <td>※ 1,2-ジクロロエタン(濃度指針値)</td> <td>370 μg/m³</td> <td>・ 0.085ppm</td> </tr> <tr> <td>※ キロレン(濃度指針値)</td> <td>200 μg/m³</td> <td>・ 0.05ppm</td> </tr> <tr> <td>※ 1,1-ジクロロエタン(濃度指針値)</td> <td>240 μg/m³</td> <td>・ 0.04ppm</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定する室等: (各階1箇所打ち合わせの上決定)</p> <p>採取方法: 吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。</p> <p>測定結果等報告書の提出</p> <p>次の事項を記載した報告書を2部提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 測定結果 ・ 試料採取時の状況(気温・湿度(室外・室内)、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数) ・ 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器 <p>測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡は受けない。</p> <p>・ 総揮発性有機化合物の測定</p> <p>測定方法、測定物質及び測定か所等については、別図に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。</p> <p>※ 室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への提示については、施設管理者に依頼する。</p> <p>「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。</p>	種類	受入施設名	所在地(Km)	備考													※ ホルムアルデヒド(濃度指針値)	100 μg/m ³	・ 0.08ppm	※ フォルムアルデヒド(濃度指針値)	220 μg/m ³	・ 0.05ppm	※ トルエン(濃度指針値)	260 μg/m ³	・ 0.07ppm	※ 1,2-ジクロロエタン(濃度指針値)	370 μg/m ³	・ 0.085ppm	※ キロレン(濃度指針値)	200 μg/m ³	・ 0.05ppm	※ 1,1-ジクロロエタン(濃度指針値)	240 μg/m ³	・ 0.04ppm
種類	受入施設名	所在地(Km)	備考																																	
※ ホルムアルデヒド(濃度指針値)	100 μg/m ³	・ 0.08ppm																																		
※ フォルムアルデヒド(濃度指針値)	220 μg/m ³	・ 0.05ppm																																		
※ トルエン(濃度指針値)	260 μg/m ³	・ 0.07ppm																																		
※ 1,2-ジクロロエタン(濃度指針値)	370 μg/m ³	・ 0.085ppm																																		
※ キロレン(濃度指針値)	200 μg/m ³	・ 0.05ppm																																		
※ 1,1-ジクロロエタン(濃度指針値)	240 μg/m ³	・ 0.04ppm																																		
5	電気保安																																			
6	事故報告																																			
7	建築材料等																																			
9	特別な材料の工法																																			

10	建築基準法による風圧力等の指定	<table border="1"> <thead> <tr> <th>適用工事</th> <th>建築基準法の指定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 合成高分子系ルーフィングシート</td> <td>風速(V0) ※34</td> </tr> <tr> <td>・ アルミニウム笠木</td> <td>地表面粗度区分 ・ II</td> </tr> <tr> <td>・ 折板屋根葺</td> <td>多雪地域の指定 ・ 有</td> </tr> </tbody> </table>	適用工事	建築基準法の指定	・ 合成高分子系ルーフィングシート	風速(V0) ※34	・ アルミニウム笠木	地表面粗度区分 ・ II	・ 折板屋根葺	多雪地域の指定 ・ 有																						
適用工事	建築基準法の指定																															
・ 合成高分子系ルーフィングシート	風速(V0) ※34																															
・ アルミニウム笠木	地表面粗度区分 ・ II																															
・ 折板屋根葺	多雪地域の指定 ・ 有																															
11	設計GL	※ 図示 ・ 現状平均地盤高																														
12	施工調査	<p>施工数量調査</p> <p>・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査項目</th> <th>調査範囲</th> <th>調査方法</th> <th>成果品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外壁</td> <td>全面</td> <td>目視・打診等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	調査項目	調査範囲	調査方法	成果品	外壁	全面	目視・打診等																							
調査項目	調査範囲	調査方法	成果品																													
外壁	全面	目視・打診等																														
13	技能士	<p>・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。</p> <p>※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。</p> <p>・ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種目</th> <th>技能検定職種(技能検定作業)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>以下の該当工事</td> <td>・ 該当する作業がある以下の職種(作業)の全て</td> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td>・ とび(とび作業)</td> </tr> <tr> <td>防水改修工事</td> <td>・ 防水施工(・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルト防水工事作業 ・FRP防水工事作業)</td> </tr> <tr> <td>外壁改修工事</td> <td>・ 左官(左官作業) ・ タイル張り(タイル張り作業) ・ 樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事作業) ・ 塗装(建築塗装作業)</td> </tr> <tr> <td>建具改修工事</td> <td>・ サッシ施工(ビル用サッシ施工作業) ・ ガラス施工(ガラス工事作業) ・ 自動ドア施工(自動ドア施工作業)</td> </tr> <tr> <td>内装改修工事</td> <td>・ 内装仕上施工(・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーベット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・鋼製下地工事作業)</td> </tr> <tr> <td>塗装改修工事</td> <td>・ 表装(壁装作業)</td> </tr> <tr> <td>耐震改修工事</td> <td>・ 塗装(建築塗装作業) ・ 鉄筋施工(鉄筋組立作業) ・ 型枠施工(型枠工事作業) ・ とび(とび作業) ・ コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事作業) ・ 鉄工(構造物鉄工作業)</td> </tr> <tr> <td>コンクリートブロック・パネル押出成形セメント板工事</td> <td>・ ブロック建築(コンクリートブロック工事作業) ・ ALCパネル施工(ALCパネル工事作業)</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>・ 石材施工(石張り作業)</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>・ 配管(建築配管作業)</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>・ 路面表示施工(・溶融ペイントロードマーカ工事作業 ・ 加熱ペイントマシナ作業)</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>・ 造園(造園工事作業)</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>・ 建築板金(内外装板金作業) ・ スレート施工(スレート工事作業)</td> </tr> </tbody> </table>	工事種目	技能検定職種(技能検定作業)	以下の該当工事	・ 該当する作業がある以下の職種(作業)の全て	仮設工事	・ とび(とび作業)	防水改修工事	・ 防水施工(・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルト防水工事作業 ・FRP防水工事作業)	外壁改修工事	・ 左官(左官作業) ・ タイル張り(タイル張り作業) ・ 樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事作業) ・ 塗装(建築塗装作業)	建具改修工事	・ サッシ施工(ビル用サッシ施工作業) ・ ガラス施工(ガラス工事作業) ・ 自動ドア施工(自動ドア施工作業)	内装改修工事	・ 内装仕上施工(・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーベット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・鋼製下地工事作業)	塗装改修工事	・ 表装(壁装作業)	耐震改修工事	・ 塗装(建築塗装作業) ・ 鉄筋施工(鉄筋組立作業) ・ 型枠施工(型枠工事作業) ・ とび(とび作業) ・ コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事作業) ・ 鉄工(構造物鉄工作業)	コンクリートブロック・パネル押出成形セメント板工事	・ ブロック建築(コンクリートブロック工事作業) ・ ALCパネル施工(ALCパネル工事作業)	石工事	・ 石材施工(石張り作業)	排水工事	・ 配管(建築配管作業)	舗装工事	・ 路面表示施工(・溶融ペイントロードマーカ工事作業 ・ 加熱ペイントマシナ作業)	植栽工事	・ 造園(造園工事作業)	屋根及びとい工事	・ 建築板金(内外装板金作業) ・ スレート施工(スレート工事作業)
工事種目	技能検定職種(技能検定作業)																															
以下の該当工事	・ 該当する作業がある以下の職種(作業)の全て																															
仮設工事	・ とび(とび作業)																															
防水改修工事	・ 防水施工(・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルト防水工事作業 ・FRP防水工事作業)																															
外壁改修工事	・ 左官(左官作業) ・ タイル張り(タイル張り作業) ・ 樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事作業) ・ 塗装(建築塗装作業)																															
建具改修工事	・ サッシ施工(ビル用サッシ施工作業) ・ ガラス施工(ガラス工事作業) ・ 自動ドア施工(自動ドア施工作業)																															
内装改修工事	・ 内装仕上施工(・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーベット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・鋼製下地工事作業)																															
塗装改修工事	・ 表装(壁装作業)																															
耐震改修工事	・ 塗装(建築塗装作業) ・ 鉄筋施工(鉄筋組立作業) ・ 型枠施工(型枠工事作業) ・ とび(とび作業) ・ コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事作業) ・ 鉄工(構造物鉄工作業)																															
コンクリートブロック・パネル押出成形セメント板工事	・ ブロック建築(コンクリートブロック工事作業) ・ ALCパネル施工(ALCパネル工事作業)																															
石工事	・ 石材施工(石張り作業)																															
排水工事	・ 配管(建築配管作業)																															
舗装工事	・ 路面表示施工(・溶融ペイントロードマーカ工事作業 ・ 加熱ペイントマシナ作業)																															
植栽工事	・ 造園(造園工事作業)																															
屋根及びとい工事	・ 建築板金(内外装板金作業) ・ スレート施工(スレート工事作業)																															
14	完成時提出書類	<ul style="list-style-type: none"> ※ 見開きA3(製本A4判) 竣工図、施工図 3部(検査後提出) ※ 完成図面電子データ(JWW形式及びPDF形式) 1式 ※ 本工事内容説明事項書に基づく市指定の工事書類 1式 ※ 建築物等の維持・保全に関する資料 1式 ※ その他監督職員が指示したもの 1式 																														
15	工事写真	<ul style="list-style-type: none"> ※ 作成する ・ 作成しない 工事写真は、「海老名市公共工事デジタル写真管理要領」により撮影する。 																														
16	設備工事との取合い	<p>施工範囲 各工事の区分表による。</p> <p>施工図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。</p>																														
17	火災保険等	<p>工事事務及び工事材料等について、次により保険に付す。</p> <p>保険の種類 ※ 火災保険 ※ 建設工事保険</p> <p>保険期間 ※ 工事着手から工事事務引渡し日まで</p>																														

2	① 仮囲い	<ul style="list-style-type: none"> ※ 設ける ・ 設けない 仮囲いの位置及び延長は図示による。 ・ 万能鋼板(H=) ・ 波形鉄板(H=) ・ 単管シート(H=) ・ シートゲート(H= , W=) × 箇所 																				
	② 交通誘導員	<ul style="list-style-type: none"> ※ 配置する ・ 配置しない 																				
	③ 工事表示板	<ul style="list-style-type: none"> ※ 設置する ・ 設置しない 海老名市公共工事共通事項書による 																				
	④ 足場その他	<p>内部足場 ※ 脚立、足場板等</p> <p>外部足場 ※ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</p> <p>防護シート ※ 設ける ・ 設けない</p> <p>材料の運搬 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ D種 ※ E種 <p>足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。</p>																				
	⑤ 養生	<p>家具の移動 ・ 行う(図示) ・ 行わない</p> <p>既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>養生の方法</p> <p>保管場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設ける(図示) ・ A種 ・ B種 ※ C種 																				
	⑥ 仮設間仕切り	<ul style="list-style-type: none"> ※ 設けない(請負者事務所に打合せ会議室を確保する) ・ 設ける(規模 m²程度 請負者事務所と同様 ・ 可 ・ 否) 備品(
	⑦ 監督職員事務所	<ul style="list-style-type: none"> ※ 設けない(請負者事務所に打合せ会議室を確保する) ・ 設ける(規模 m²程度 請負者事務所と同様 ・ 可 ・ 否) 備品(
	⑧ 工事用水	<ul style="list-style-type: none"> 構内既存の施設 ・ 利用できる(※有償 ・ 無償) ※ 利用できない 																				
	⑨ 工事用電力	<ul style="list-style-type: none"> 構内既存の施設 ・ 利用できる(※有償 ・ 無償) ※ 利用できない 																				
	⑩ 工事用通路	<ul style="list-style-type: none"> ※ 指定しない ・ 指定する(図示) 																				
	11. その他の仮設																					
3	1. アスファルト防水	<p>改修工法の種別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>新規防水層の種別</th> <th>改修工法の種類</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ E-1</td> <td></td> <td>屋内(便所・浴室)</td> </tr> </tbody> </table> <p>アスファルトの種類 JIS K2207のJIS表示認証製品 ※3種</p> <p>脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない</p> <p>種類 ・ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型</p> <p>施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。</p>	新規防水層の種別	改修工法の種類	施工箇所	・			・ E-1		屋内(便所・浴室)											
新規防水層の種別	改修工法の種類	施工箇所																				
・																						
・ E-1		屋内(便所・浴室)																				
	2. 伸縮調整目地	<ul style="list-style-type: none"> ※ 成型伸縮目地(天端 EPTゴム、サイド プチルゴム製) 																				
	3. 改質アスファルトシート防水	<p>改修工法の種別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>新規防水層の種別</th> <th>改修工法の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A-S-T</td> <td></td> <td></td> <td>※ カラー</td> </tr> <tr> <td>・ A-S-J</td> <td></td> <td></td> <td>・ シルバー</td> </tr> <tr> <td>・ A-S-I</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない</p> <p>種類 ・ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型</p> <p>施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。</p>	新規防水層の種別	改修工法の種類	施工箇所	仕上塗料	・ A-S-T			※ カラー	・ A-S-J			・ シルバー	・ A-S-I							
新規防水層の種別	改修工法の種類	施工箇所	仕上塗料																			
・ A-S-T			※ カラー																			
・ A-S-J			・ シルバー																			
・ A-S-I																						
	4. 合成高分子系ルーフィングシート防水	<p>改修工法の種別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>新規防水層の種別</th> <th>改修工法の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ S-F</td> <td></td> <td></td> <td>※ カラー</td> </tr> <tr> <td>・ S-M</td> <td></td> <td></td> <td>・ シルバー</td> </tr> <tr> <td>・ S-I</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない</p> <p>種類 ・ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型</p> <p>施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。</p>	新規防水層の種別	改修工法の種類	施工箇所	仕上塗料	・ S-F			※ カラー	・ S-M			・ シルバー	・ S-I							
新規防水層の種別	改修工法の種類	施工箇所	仕上塗料																			
・ S-F			※ カラー																			
・ S-M			・ シルバー																			
・ S-I																						
	5. 塗膜防水	<p>改修工法の種別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>新規防水層の種別</th> <th>改修工法の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ X-1</td> <td></td> <td></td> <td>※ カラー</td> </tr> <tr> <td>◎ X-2</td> <td>密着工法</td> <td>図示</td> <td>・ シルバー</td> </tr> <tr> <td>・ Y-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>脱気装置 ・ 設ける ○設けない</p> <p>種類 ・ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型</p> <p>施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。</p> <p>・ 非破壊膜厚管理工法 膜厚管理結果報告書(図面)を提出</p> <p>X-1: 全面測定 メーカー非対応の場合は監督員と協議のこと</p> <p>X-2: 1か所以上/@1~3m程度 施工数量に応じて監督員と協議のこと</p> <p>※ 被着体に応じたものとし、<表3.7.1>を標準とする。</p> <p>・ <表3.7.1>によらない箇所及びシーリング材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th><表3.7.1>によらない箇所</th> <th>シーリング材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カーテンウォール</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	新規防水層の種別	改修工法の種類	施工箇所	仕上塗料	・ X-1			※ カラー	◎ X-2	密着工法	図示	・ シルバー	・ Y-2				<表3.7.1>によらない箇所	シーリング材料	カーテンウォール	
新規防水層の種別	改修工法の種類	施工箇所	仕上塗料																			
・ X-1			※ カラー																			
◎ X-2	密着工法	図示	・ シルバー																			
・ Y-2																						
<表3.7.1>によらない箇所	シーリング材料																					
カーテンウォール																						
	6. シーリング材料及び施工箇所	<p>改修工法の種別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修工法の種類</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ シーリング充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎ シーリング再充填工法</td> <td>外壁建具廻り、ガラス廻り</td> </tr> <tr> <td>・ 拡幅シーリング充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ブリッジ工法()</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	改修工法の種類	施工箇所	・ シーリング充填工法		◎ シーリング再充填工法	外壁建具廻り、ガラス廻り	・ 拡幅シーリング充填工法		・ ブリッジ工法()											
改修工法の種類	施工箇所																					
・ シーリング充填工法																						
◎ シーリング再充填工法	外壁建具廻り、ガラス廻り																					
・ 拡幅シーリング充填工法																						
・ ブリッジ工法()																						
	7. シーリング改修工法																					
	8. とい	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>防露</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 配管用鋼管(SGP)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 硬質塩化ビニル管(VP)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>特記無き限り既存のとい受け金物を使用する。</p> <p>鋼管製といの防露巻き</p> <p>※ <表3.8.5>による。</p>	材種	防露	・ 配管用鋼管(SGP)		・ 硬質塩化ビニル管(VP)		・													
材種	防露																					
・ 配管用鋼管(SGP)																						
・ 硬質塩化ビニル管(VP)																						
・																						



図面名称	建築工事改修特記仕様書 1	図面番号	
縮尺	N.S		A-01
件名	海老名市医療センター外装改修工事		

3 防水改修工事	⑨ ルーフドレイン	※ 鋳鉄製 ※ 縦型 ○ 横型	4 外壁改修工事	3. 浮き部改修	・ モルタル塗り仕上げ	1箇所浮き代の面積 (mm)	アンカーピン (本/m)	注入口 (箇/m)	延べ面積 (m ²)
	10. アルミニウム製窓木	部材の種類 ・ 押出 250形 ・ 押出 300形 ・ 押出 350形 ・ 板材折曲げ形 付属部品の材料、角各部並びに突当り部等の役物は、笠木本体製作所の仕様による。 表面処理 ※ B-1種 ・ B-2種				ひび割れの幅 (mm)	延べ長さ (m)	一般部	一般部
4 外壁改修工事	① ひび割れ部改修	○ コンクリート打放し仕上げ	壁改修工事	4. タイル張り	・ タイル張り仕上げ (着色樹脂系タイル剥落防止工法)	1箇所浮き代の面積 (mm)	アンカーピン (本/m)	注入口 (箇/m)	延べ面積 (m ²)
	② 欠損部改修	○ シール工法				ひび割れの幅 (mm)	延べ長さ (m)	一般部	一般部

5 建具改修工事	8. 木製建具	9. 建具用金物	10. 自動ドア開閉装置	11. 重量シャッター	12. 軽量シャッター	13. オーバーヘッドドア	14. ガラス	建具材の加工、組立時の含水率	・ A種	※ B種	・ C種
								かまち戸の樹種	かまちは杉上小節程度	棧、鏡板は杉無節程度	ふすまの上張り

6 壁仕上げ既存塗膜等の除去及び下地処理	5 建具改修工事	1. 一般事項	2. アルミニウム製建具	3. 網戸	4. 樹脂製建具	5. 鋼製建具	6. 鋼製軽量建具	7. ステンレス製建具	塗膜の劣化部の除去工法	処 理 範 囲
									・ サンダー工法	※ 既存仕上面全体

金物の種類	型 式	製 造 所		
モノロック				
本締め付きモノロック				
シリンドー箱錠				
シリンドー本締め錠				
ドアクローザー				
フロアヒンジ				
ヒンジクローザー	内 蔵 型			
ビボットヒンジ		JIS表示認証製品		
レバーハンドル	アルミ合金 レバー長さ L=130程度	錠前類と同一製造所とする		
標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(標準型共)のドアクローザー、シリンドー箱錠は公共工事標準型とする。				
マスターキーの作成	・ 要 (既存マスターキーで複製可能とする。)	・ 不要		
性能	・ スライディングドア ・ スイングドア			
センサーの種類	・ 光線式 (反射) スイッチ ・ マットスイッチ式 ・ タッチスイッチ ※ 補助センサー併用			
凍結防止装置 全半開装置	・ 要 (※ 半開=)	・ 設けない		
種 類	シャッターケース	耐風圧性能	開閉方式	保護装置
・ 一般シャッター	※ 設ける ・ 設けない	・ 60 ・ 80 ・ 120	※ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式	障害物感知装置 (自動閉鎖型) ※ 設ける ・ 設けない
・ 防火シャッター	※ 設ける	JIS A 4705による強さの区分)	※ 上部電動式 (手動併用)	障害物感知装置 (自動閉鎖型) を設ける。
・ 防煙シャッター				
開閉形式	シャッターケース	耐風圧性能	スラットの形状	保護装置
※ 手動式	※ 設ける	・ 50 ・ 65 ・ 80	※ インターロッキング型 ※ オーバーラッピング型	障害物感知装置 (自動閉鎖型) ※ 設ける ・ 設けない
・ 上部電動式 (手動併用)	・ 設けない	・ (JIS A 4705による強さの区分)		
材 質	開閉方式	収納形式	耐風圧性能	ガイドレール
※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーガラスタイプ	※ バランス式 ・ チューン式 ・ 電動式	※ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形	・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125 JIS A4715による強さの区分)	※ 溶融亜鉛メッキ鋼板 ・ ステンレス鋼板
保護装置				
障害物感知装置	※ 設ける			・ 設けない
※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。				
※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。合わせガラスの特性				
・ I類	・ II-1類	・ II-2類	・ III類	
強化ガラスの特性	・ I類	・ III類		
熱線吸収板ガラス	性能 色調	・ 1類 ・ ブルー	・ 2類 ・ グレー ・ ブラウン	
複層ガラス	性能	・ 1種 ・ 3種 (・ U3-1 ・ 4種	・ 2種 ・ U3-2 ・ 5種	
封止の加速耐久性による区分		・ I類	・ II類 ・ III類	
熱線反射ガラス	日射遮へい性 耐久性 色調	・ 1種 ・ A類 ・ ブルー ・ シルバー	・ 2種 ・ B類 ・ グレー ・ ブロンズ	
反射皮膜 映像調整	・ 内側 ・ 行う	・ 外側 ・ 行わない		



① 一般事項
石綿等の取扱については、石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)以下、「石綿則」という。)を遵守すること。
施工調査
・ 行わない。
・ 行う (調査結果は図面に記録し、監督職員に提出すること。調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。)

Table with 4 columns: 測定名称, 測定時期, 測定場所, 測定点. Includes sections for asbestos analysis and concentration measurement.

② 除去工事共通事項
専門事業者
アスベスト含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督職員に提出する。
作業主任者の選出
石綿作業主任者技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。

③ アスベスト含有吹付け材の除去
アスベスト含有吹付け材の除去
・ 行う (適用範囲・図示)
・ 行わない
養生等
※ 養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。
除去方法
※ 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。
※ 除去物については<9.1.3(b)>により、密封処理とする。

④ 石綿含有仕上塗材の除去
石綿含有仕上塗材の除去
・ 行う (適用範囲・図示)
・ 行わない
養生等
・ 行う (適用範囲・図示)
・ 行わない
除去方法
○ 集じん装置付き超高压水洗工法(100MPa以上)
※ 石綿含有仕上塗材面に足場つなぎを設置する場合は、集じん機付きドリルを使用する。

Table with 4 columns: 断熱材の種類, 箇所, 厚さ(mm), 備考. Includes sections for thermal insulation and floor materials.

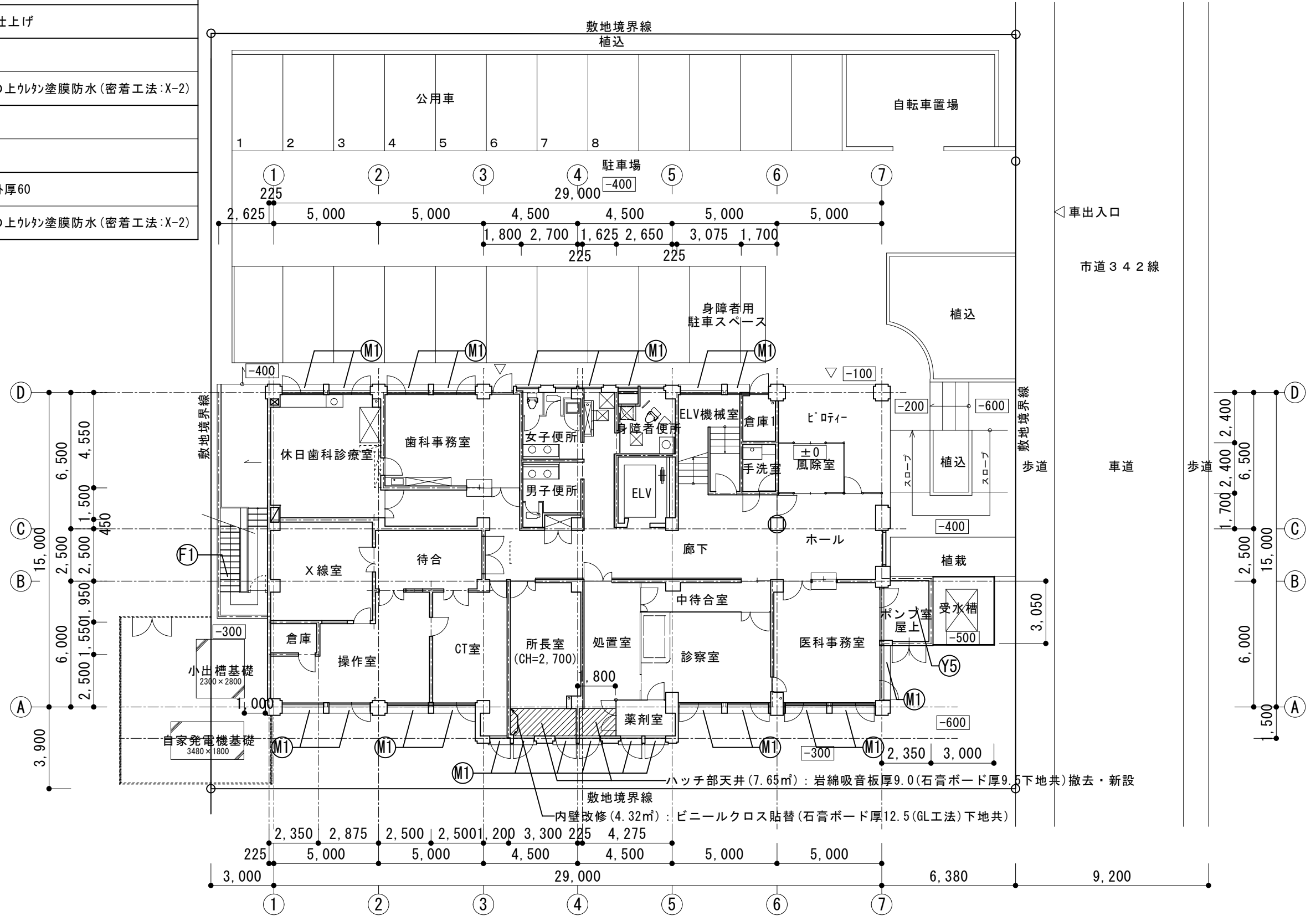
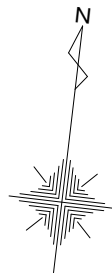
敷地概要		建物概要		工事概要	改修工事履歴
工事名称	海老名市医療センター外装改修工事	主要用途	急患診療所	1. 外壁改修工事	平成24年 南側1階トップライト上部折板施工
地名・地番	海老名市さつき町4-1番地	構造	鉄筋コンクリート造	2. 防水改修工事	
用途地域	第一種住居地域	階数	地上4階建て	3. 建具改修工事（建具廻りシーリングの打ち替え）一部新設	
防火指定	準防火地域	建築面積	477.497㎡	4. 塗装改修工事（鉄部等）	
敷地面積	1,381.937㎡	延床面積	1,399.21㎡	5. 環境配慮改修工事（アスベスト除去）	
許容建蔽率	60%	竣工年月	平成8年2月		
許容容積率	200%				

外部仕上表

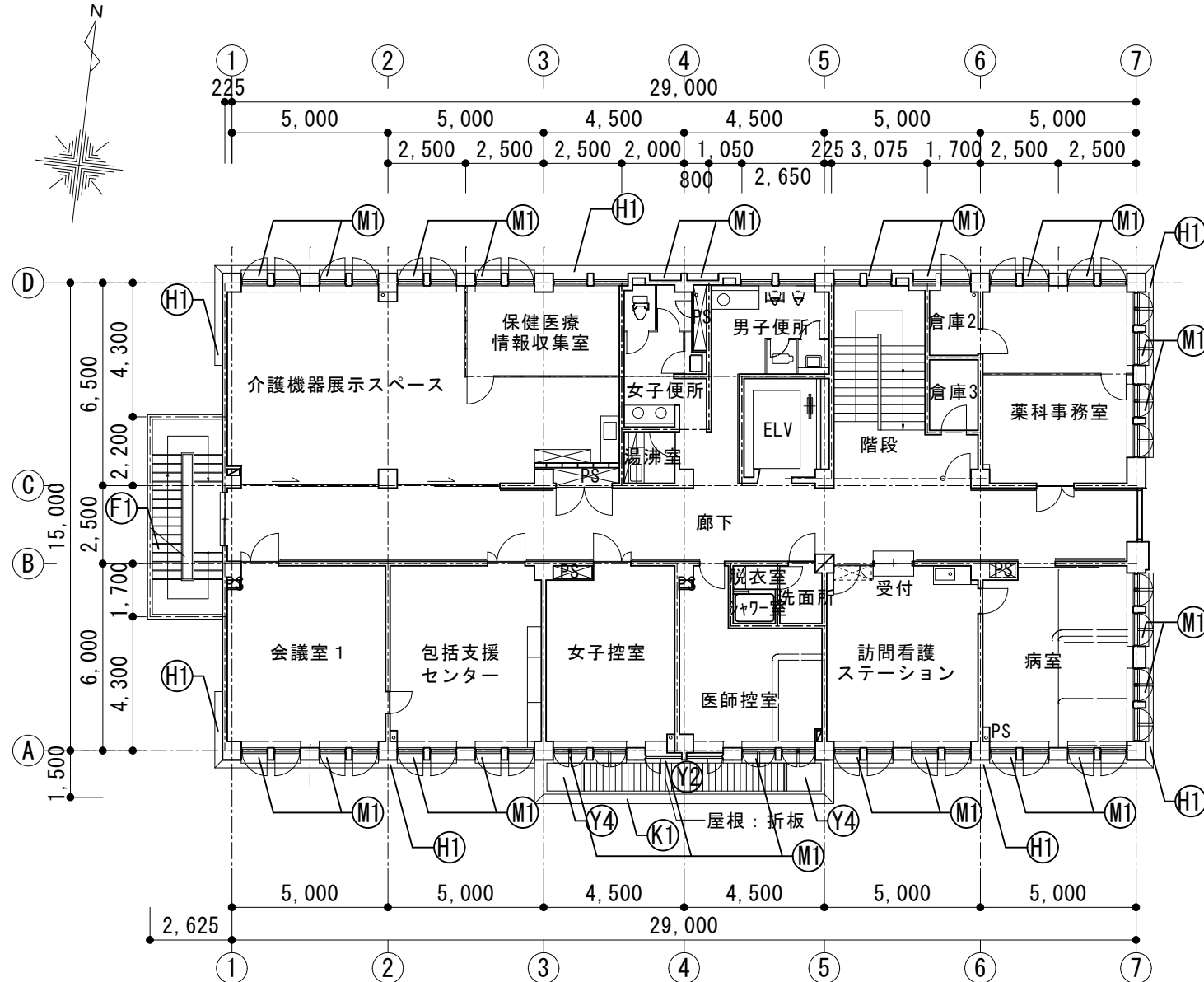
部 位	記号	番号	既存仕上げ	改修仕上げ	特記事項
屋根	Y	1	カラーアルミ厚0.8横葺	水洗い（15MPa）、超速硬化ウレタン塗膜防水（断熱複合工法）	1. 施工調査を事前に行い、クラック・モルタル浮きの範囲等について、損傷箇所をチョーク等で明示し、調査報告書（各立面図に損傷ヶ所の数量・長さ等を記入）を作成し、監督員と協議する。 2. 既存塗膜及び下地劣化部の除去は高圧水洗工法とし、高圧水洗機の加圧力を30MPa程度以上とする。 3. 鉄筋爆裂部分の処理は、鉄筋の錆を除去しケレン及び防錆塗装を施し、エポキシ樹脂モルタルで補修する。
		2	カラー鋼板折板葺き 山高80 t=0.8	下地調整の上DP塗装	
		3	アルミ製ルーバー	清掃、トップコート遮熱塗料塗り	
		4	ゴム弾性モルタル防水（所長室上部下屋）	高圧水洗、下地調整(C-2)の上ウレタン塗膜防水（密着工法：X-2）	
		5	アスファルト防水の上シンダーコンクリート厚60（ポンプ室）	高圧水洗、下地調整(C-2)の上ウレタン塗膜防水（密着工法：X-2）	
笠木	K	1	コンクリート金ゴテ	高圧水洗、下地調整(C-2)の上ウレタン塗膜防水（密着工法：X-2）	4. ひび割れの補修 0.2mm以上・・・・・・Uカットシール材充填工法
軒樋	R	1	防水モルタル下地の土塩ビ系シート防水厚2.0（撤去）	高圧水洗、下地調整(C-2)の上ウレタン塗膜防水（密着工法：X-2）	5. 建具廻りシーリング打ち替え 既存部分撤去後、変成シリコーン（MS-2）15×10 6. 構造スリットシーリング打ち替え 既存部分撤去後、ポリウレタン（PU-2）40×10 7. 建具・水切り取合いシーリング打ち替え 既存部分撤去後、変成シリコーン（MS-2）15×10
外壁	G	1	コンクリート打放補修の上石調仕上塗材（石綿含有）	既存塗膜除去（集塵装置付き超高圧水洗工法 100MPa以上）、水洗い（15MPa）、施工数量調査、下地補修、下地調整材（樹脂系微弾性）、多彩模様アクリルシリコン塗材	
		2	コンクリート打放補修AE	水洗い（15MPa）、施工数量調査、下地補修、下地調整材（C-2）、アクリルシリコン塗材	
		3	コンクリート特殊型枠AE	水洗い（15MPa）、施工数量調査、下地補修、樹脂モルタル成形、下地調整材（C-1吹付）、アクリルシリコン塗材	
軒裏	N	4	磁器タイル（二丁掛）貼（受水槽置場）	水洗い（15MPa）、施工数量調査、既存劣化部撤去、樹脂モルタル成形、目地詰め、下地調整材（C-2）、防水形複層塗材E	
		1	コンクリート打放補修の上石調仕上塗材（石綿含有）	既存塗膜除去（集塵装置付き超高圧水洗工法 100MPa以上）、水洗い（15MPa）、施工数量調査、下地補修、下地調整材（C-1）、可とう形外装薄塗材Si	8. ウレタン塗膜防水は特定化学物質無配合とする。
外巾木	B	2	石膏ボード厚9下地の上岩綿吸音板厚9	EP塗装	9. 基礎巾木専用塗料塗り（エスケー化研（株）「ベースプロテクト」同等品）
		1	コンクリート打放補修の上石調仕上塗材（石綿含有）	既存塗膜除去（集塵装置付き超高圧水洗工法 100MPa以上）、水洗い（15MPa）、施工数量調査、下地補修、下地調整材（C-2）、基礎巾木専用塗料塗り	10. セラミックテラコッタ飾り壁300角 t=30~75は水洗いとする。
建具	T	1	建具廻りシーリング撤去（4周）	変成シリコーン（MS-2）15×10	11. 集塵装置付き超高圧水洗い工法 （（株）マルホウ「ウォータークリーン工法」同等品）
		2	水切り取合シーリング撤去	変成シリコーン（MS-2）15×10	
庇	H	1	防水モルタル金ゴテ	高圧水洗、下地調整(C-2)の上ウレタン塗膜防水（密着工法：X-2）	
窓台	M	1	防水モルタル金ゴテ	高圧水洗、下地調整(C-2)の上ウレタン塗膜防水（密着工法：X-2）	
鉄部	S	1	SOP塗装	下地調整の上DP塗装	
階段	F	1	防水モルタル金ゴテ	水洗い（15MPa）	

凡例

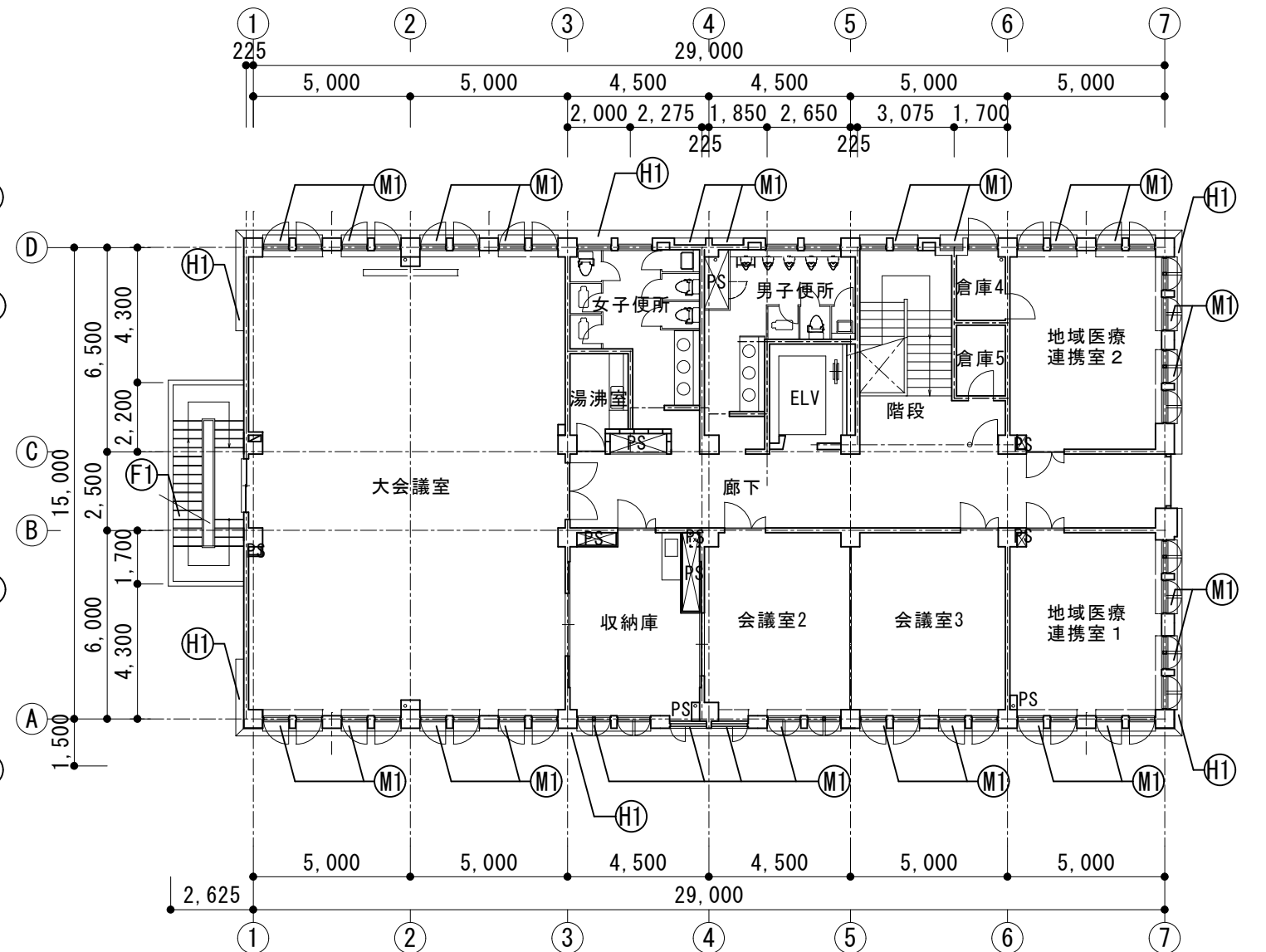
部位	記号	番号	仕上げ	
窓台	M	1	既存	防水モルタル金ゴテ
			改修	高圧水洗、下地調整(C-2)の上ウレタ塗膜防水(密着工法:X-2)
階段	F	1	既存	防水モルタル金ゴテ
			改修	水洗い(15MPa)
屋根	Y	5	既存	アスファルト防水の上シタ [®] -コンクリート厚60
			改修	高圧水洗、下地調整(C-2)の上ウレタ塗膜防水(密着工法:X-2)



1階平面図 S=1:200

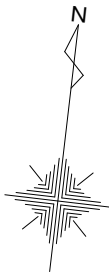


2階平面図 S=1:200

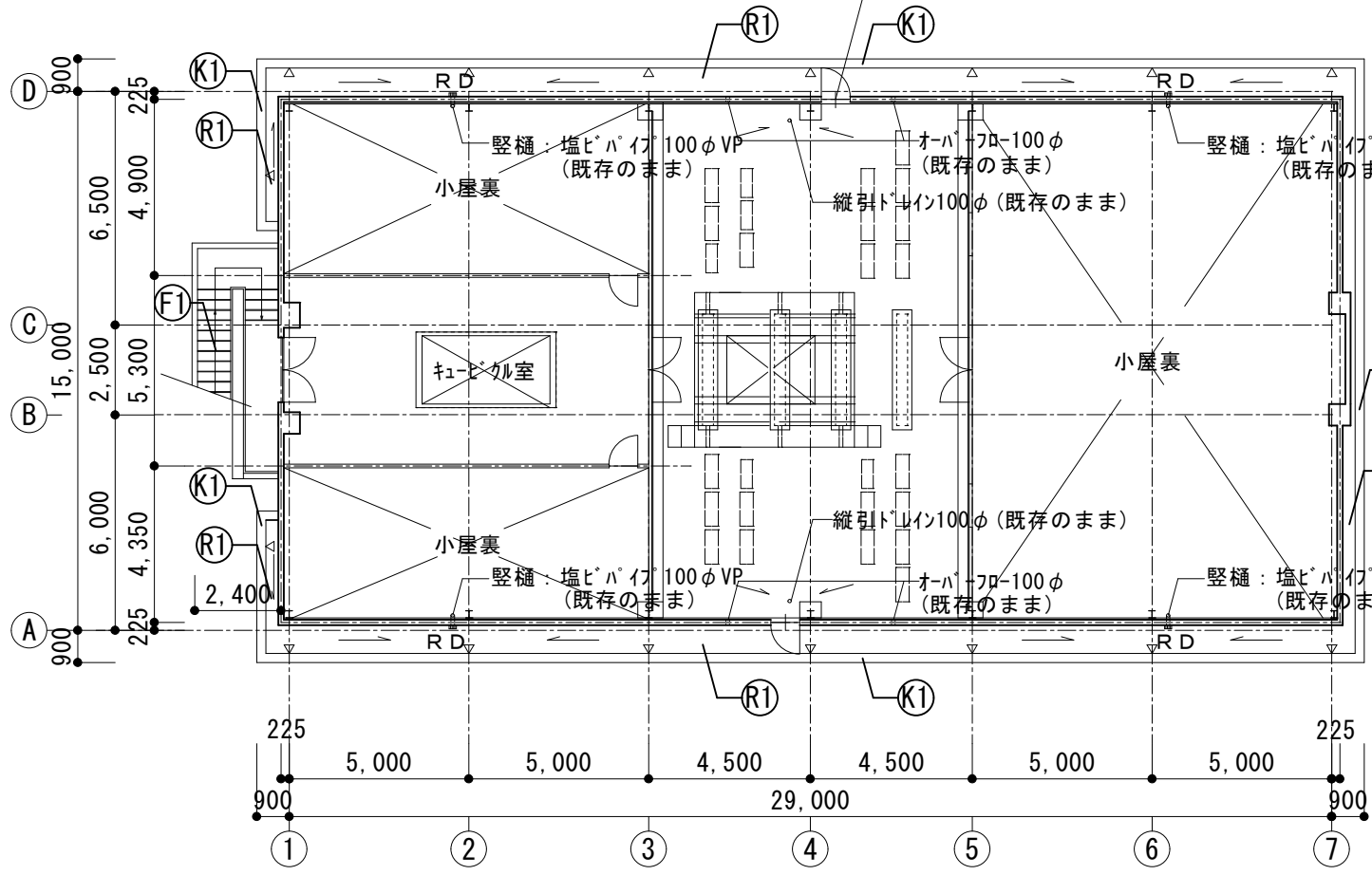


3階平面図 S=1:200

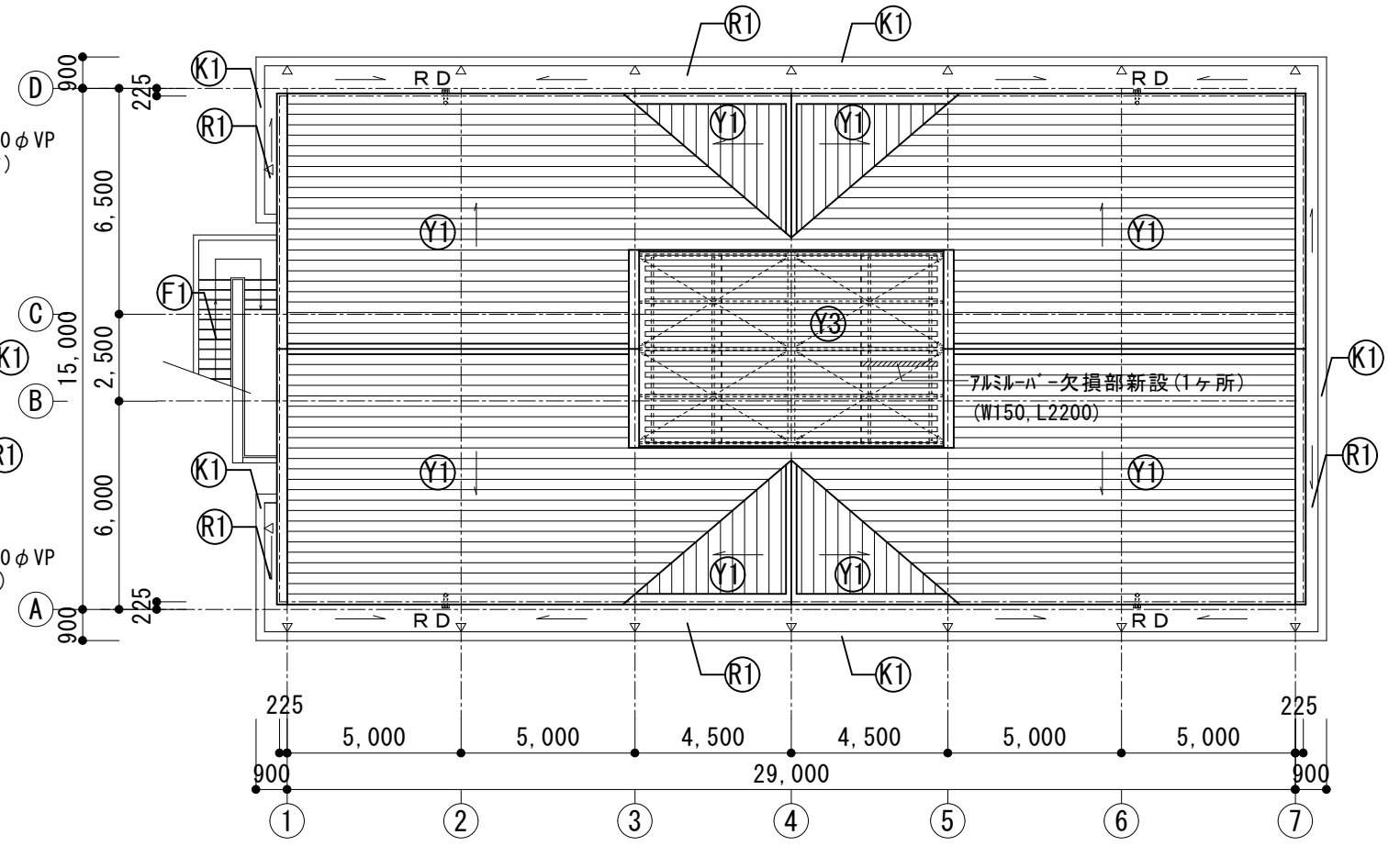
凡例				凡例				凡例			
部位	記号	番号	仕上げ	部位	記号	番号	仕上げ	部位	記号	番号	仕上げ
窓台	M	1	既存	屋根	Y	2	既存	Y	4	1	既存
			改修				カラー鋼板折板葺き 山高80 t=0.8				
階段	F	1	既存	Y	4	改修	Y	4	1	1	改修
			改修			下地調整の上DP塗装					
庇	H	1	既存	Y	4	既存	Y	4	1	1	改修
			改修			ゴム弾性モルタル防水					
			既存	笠木	K	1	既存	K	1	1	改修
			改修				防水モルタル金ゴテ				
			改修	K	1	改修	K	1	1	1	改修
			改修			高圧水洗、下地調整(C-2)の上ウレタ塗膜防水(密着工法:X-2)					



架設電源撤去：ウォールボックス(プラスチック製防雨ボックス) 1か所 (地上に仮置き)
電気配線5φ×3本(地上まで約20m)



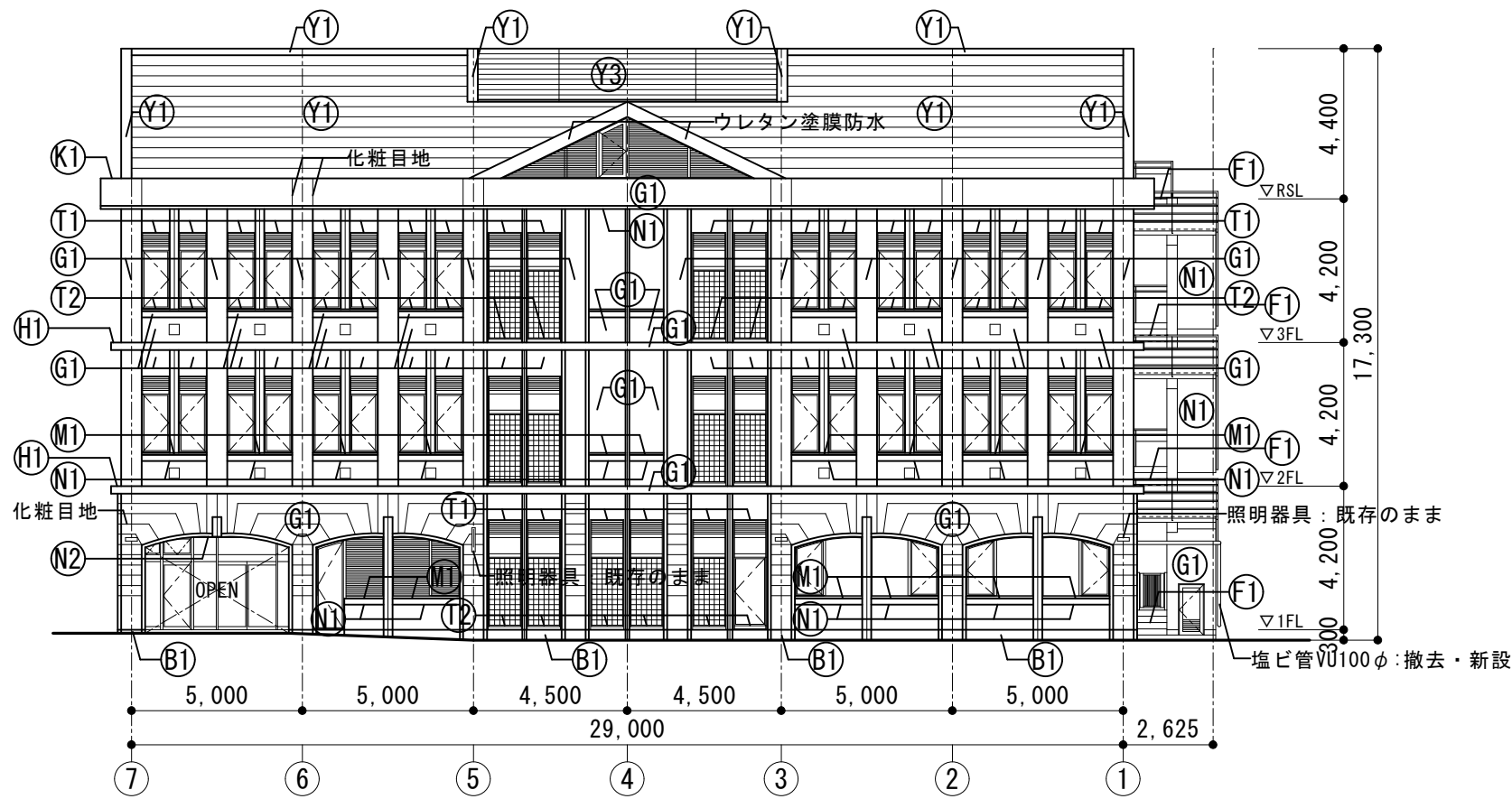
R階平面図 S=1:200



屋根伏図 S=1:200

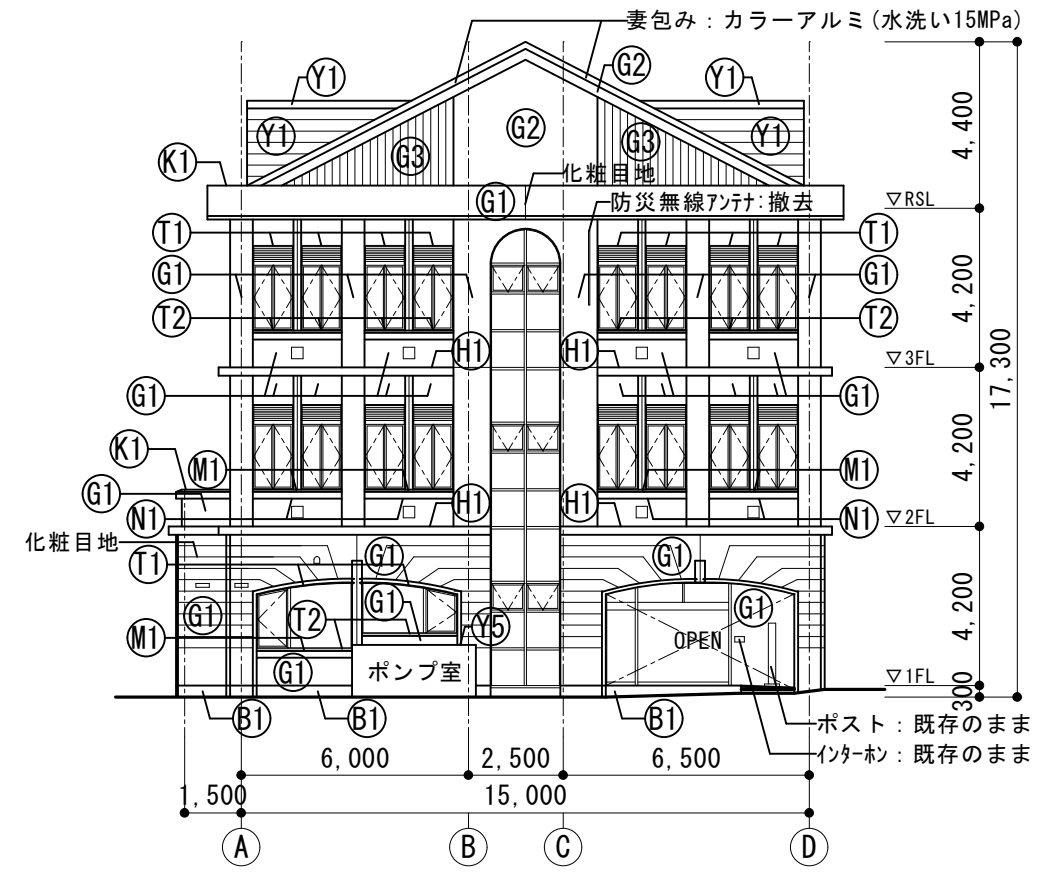
RD：横引ドレン100φ 既存：ドレインキャップのみ撤去
改修：横引き用改修ドレイン新設
▽：ステンシル丸環 (既存のまま)

凡例											
部位	記号	番号	仕上げ	部位	記号	番号	仕上げ	部位	記号	番号	仕上げ
階段	F	1	既存	防水モルタル金ゴテ	屋根	Y	1	既存	カラーアルミ厚0.8横葺		既存
			改修	水洗い (15MPa)			改修	水洗い (15MPa)、超速硬化ウレタン塗膜防水(断熱複合工法)	改修		
笠木	K	1	既存	防水モルタル金ゴテ			3	既存	アルミ製ルーバー		既存
			改修	高圧水洗、下地調整(C-2)の上リタ塗膜防水(密着工法:X-2)			改修	清掃、トップコート遮熱塗料塗り	改修		
軒樋	R	1	既存	防水モルタル下地の上塩ビシート防水厚2.0撤去					既存		既存
			改修	高圧水洗、下地調整(C-2)の上リタ塗膜防水(密着工法:X-2)					改修		改修



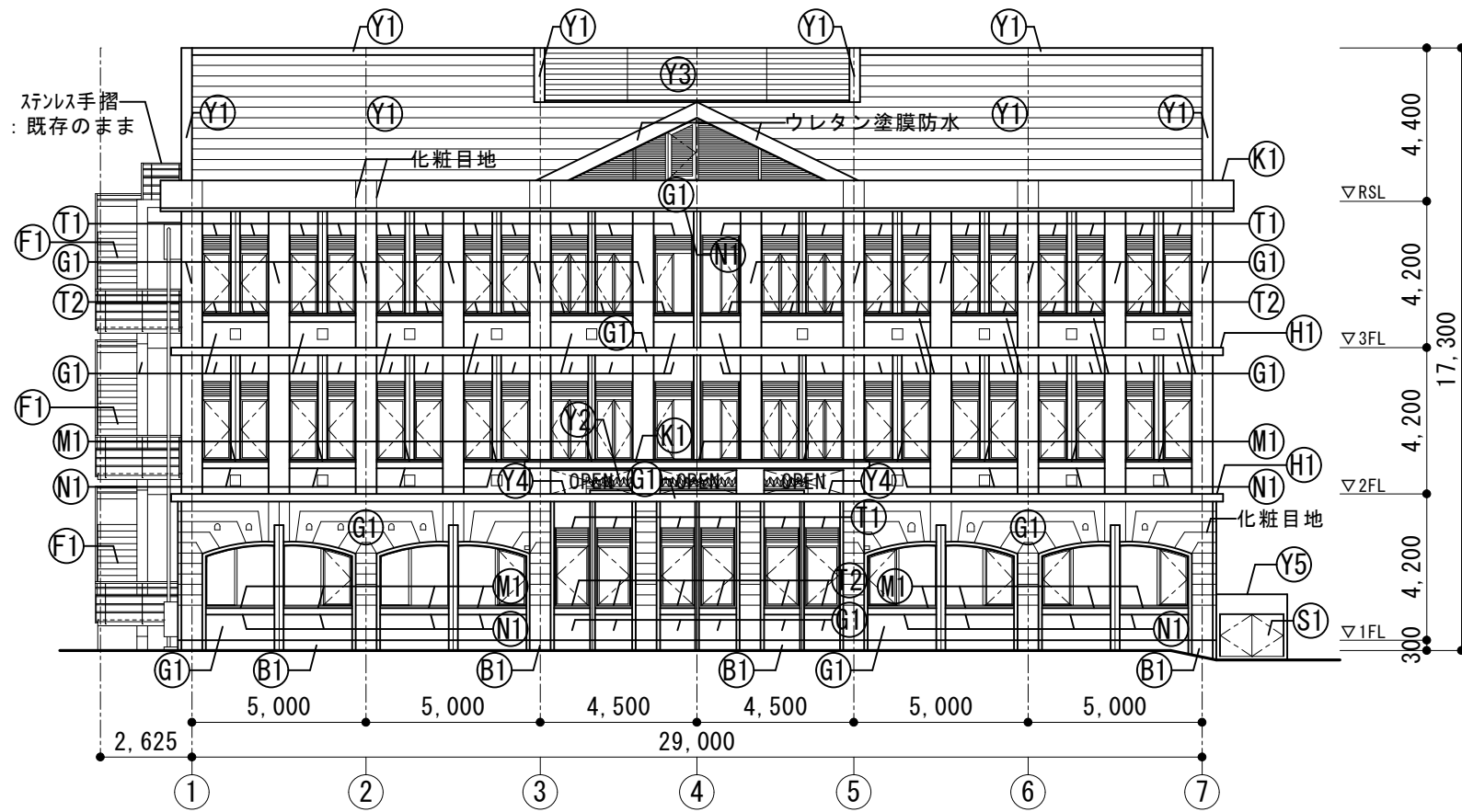
北側立面図 S = 1 : 200

□ : セラミックテラコッタ飾り壁300角 t=30~75 水洗い (15MPa)
 ○ : 換気フード(150×200) DP塗装

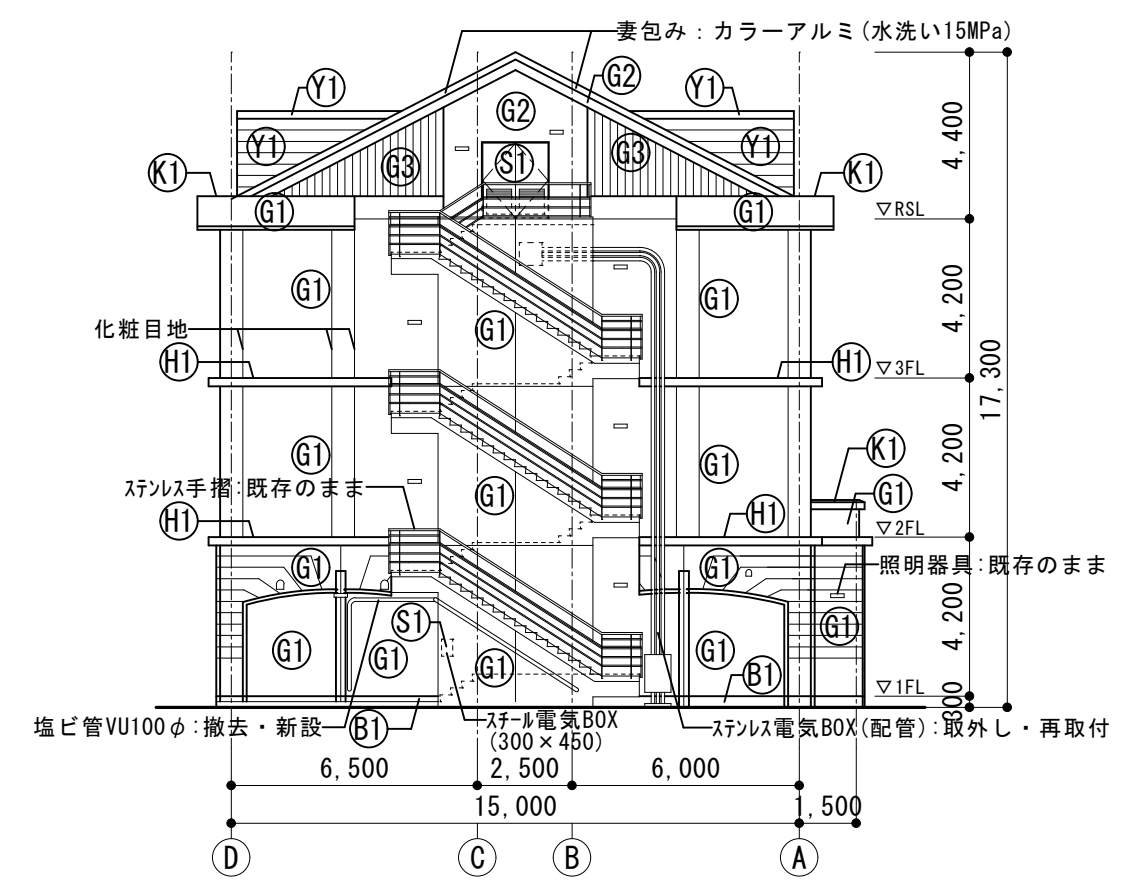


東側立面図 S = 1 : 200

凡例		仕上げ				仕上げ				仕上げ						
部位	記号	番号			部位	記号	番号			部位	記号	番号				
外壁	G	1	既存	コンクリート打放補修の上石調仕上塗材 (石綿含有)	屋根	Y	1	既存	カラーアルミ厚0.8横葺	笠木	K	1	既存	防水モルタル金ゴテ		
			改修	既存塗膜除去 (集塵装置付き超高压水施工法 100MPa以上)、水洗い (15MPa)、施工数量調査、下地補修、下地調整材 (樹脂系微弾性)、多彩模様仕上塗材				改修	水洗い (15MPa)、超速硬化ウレタン塗膜防水 (断熱複合法)				改修	高圧水洗、下地調整 (C-2) の上ウレタン塗膜防水 (密着工法: X-2)		
		2	既存	コンクリート打放補修 A E			3	既存	アルミ製ルーバー			建具	T	1	既存	建具廻りシーリング撤去 (4周)
			改修	水洗い (15MPa)、施工数量調査、下地補修、下地調整材 (C-2)、アクリルシリコン塗材				改修	清掃、トップコート遮熱塗料塗り						改修	変成シリコーン (MS-2) 15×10
		3	既存	コンクリート特殊型枠 A E			5	既存	アスファルト防水の上シタ-コンクリート厚60					2	既存	水切り取合シーリング撤去
			改修	水洗い (15MPa)、施工数量調査、下地補修、樹脂モルタル成形、下地調整材 (C-2)、アクリルシリコン塗材				改修	高圧水洗、下地調整 (C-2) の上ウレタン塗膜防水 (密着工法: X-2)						改修	変成シリコーン (MS-2) 15×10
軒裏	N	1	既存	コンクリート打放補修の上石調仕上塗材 (石綿含有)	庇	H	1	既存	防水モルタル金ゴテ							
			改修	既存塗膜除去 (集塵装置付き超高压水施工法 100MPa以上)、水洗い (15MPa)、施工数量調査、下地補修、下地調整材 (C-1)、可とう形外装薄塗材 S i				改修	高圧水洗、下地調整 (C-2) の上ウレタン塗膜防水 (密着工法: X-2)							
		2	既存	石膏ボード厚9下地の上岩綿吸音板厚9			窓台	M	1			既存	防水モルタル金ゴテ			
			改修	EP塗装								改修	高圧水洗、下地調整 (C-2) の上ウレタン塗膜防水 (密着工法: X-2)			
外巾木	B	1	既存	コンクリート打放補修の上石調仕上塗材 (石綿含有)	階段	F	1	既存	防水モルタル金ゴテ							
			改修	既存塗膜除去 (集塵装置付き超高压水施工法 100MPa以上)、水洗い (15MPa)、施工数量調査、下地補修、下地調整材 (C-2)、基礎巾木専用塗料塗り				改修	水洗い (15MPa)							



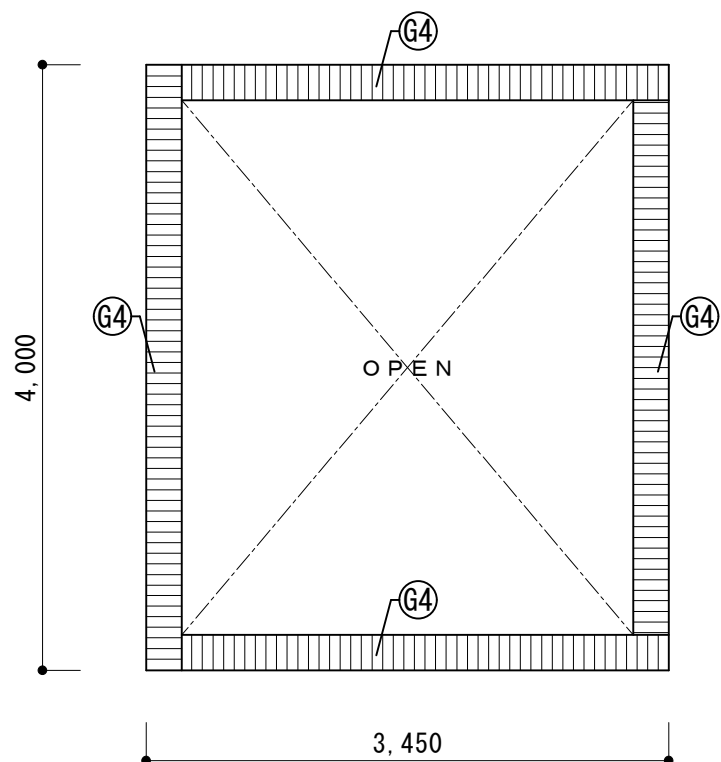
南側立面図 S = 1 : 200



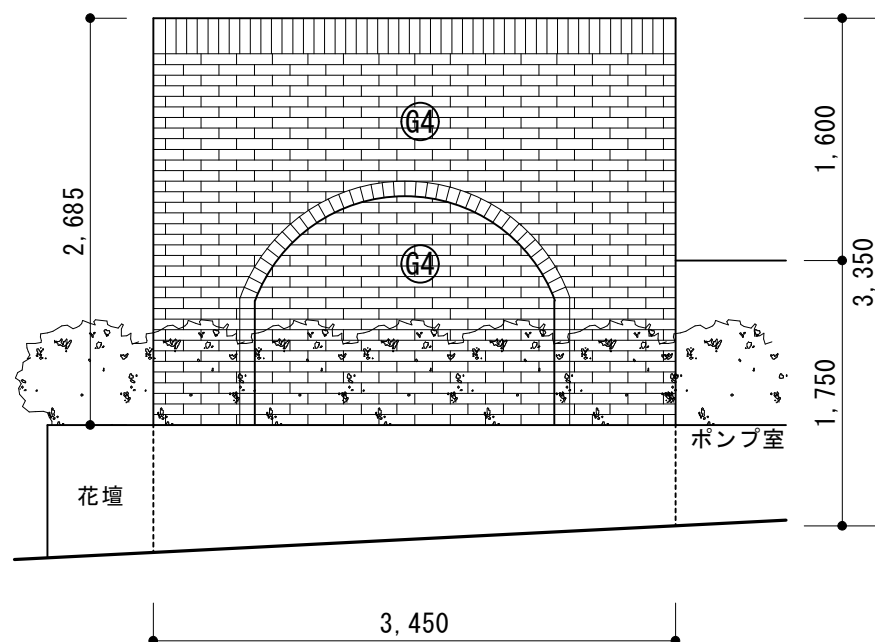
西側立面図 S = 1 : 200

- : セラミックテラコッタ飾り壁300角 t=30~75 水洗い (15MPa)
- : 換気フード(150×200) DP塗装
- ◇ : 換気フード(200×250) DP塗装

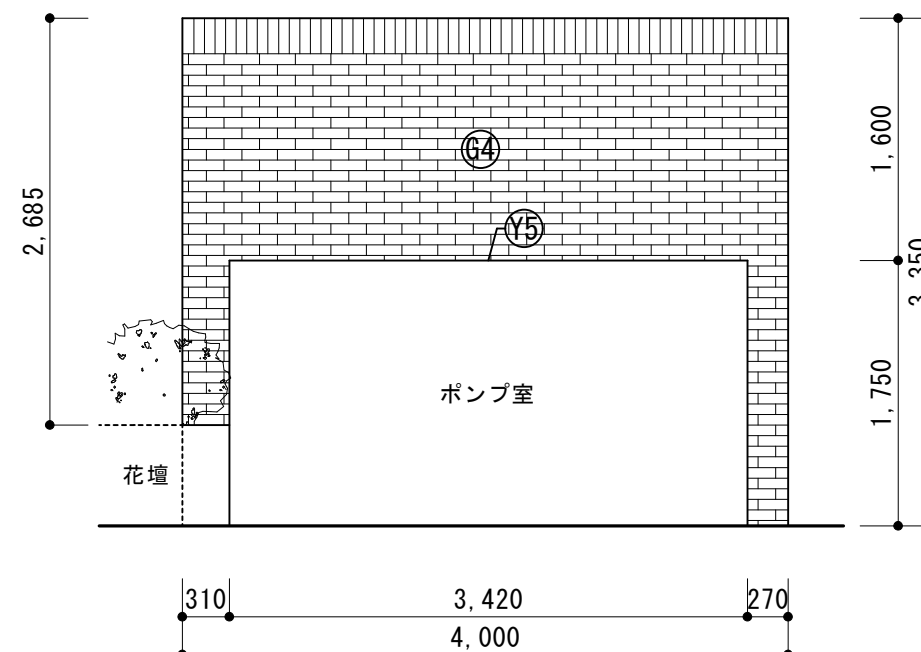
凡例														
部位	記号	番号	仕上げ	部位	記号	番号	仕上げ	部位	記号	番号	仕上げ			
外壁	G	1	既存	コンクリート打放補修の上石調仕上げ塗材 (石綿含有)	屋根	Y	1	既存	カラーアルミ厚0.8横葺	笠木	K	1	既存	防水モルタル金ゴテ
			改修	既存塗膜除去 (集塵装置付き超高压水施工法 100MPa以上)、水洗い (15MPa)、施工数量調査、下地補修、下地調整材 (樹脂系微弾性)、多彩模様仕上げ塗材				改修	水洗い (15MPa)、超速硬化ウレタン塗膜防水 (断熱複合工法)			改修	高压水洗、下地調整 (C-2) の上ウレタン塗膜防水 (密着工法: X-2)	
		2	既存	コンクリート打放補修 A E			2	既存	カラー鋼板折板葺き 山高80 t=0.8	建具	T	1	既存	建具廻りシーリング撤去 (4周)
			改修	水洗い (15MPa)、施工数量調査、下地補修、下地調整材 (C-2)、アクリルシリコン塗材				改修	下地調整の上DP塗装			改修	変成シリコン (MS-2) 15×10	
		3	既存	コンクリート特殊型枠 A E			3	既存	アルミ製ルーバー	2	既存	水切り取合シーリング撤去		
			改修	水洗い (15MPa)、施工数量調査、下地補修、樹脂モルタル成形、下地調整材 (C-2)、アクリルシリコン塗材				改修	清掃、トップコート遮熱塗料塗り		改修	変成シリコン (MS-2) 15×10		
軒裏	N	1	既存	コンクリート打放補修の上石調仕上げ塗材 (石綿含有)	階段	F	4	既存	ゴム弾性モルタル防水	庇	H	1	既存	防水モルタル金ゴテ
			改修	既存塗膜除去 (集塵装置付き超高压水施工法 100MPa以上)、水洗い (15MPa)、施工数量調査、下地補修、下地調整材 (C-1)、可とう形外装薄塗材 S i				改修	高压水洗、下地調整 (C-2) の上ウレタン塗膜防水 (密着工法: X-2)			改修	高压水洗、下地調整 (C-2) の上ウレタン塗膜防水 (密着工法: X-2)	
		2	既存	石膏ボード厚9下地の上岩綿吸音板厚9			5	既存	アスファルト防水の上シタ ⁺ -コンクリート厚60	窓台	M	1	既存	防水モルタル金ゴテ
			改修	EP塗装				改修	高压水洗、下地調整 (C-2) の上ウレタン塗膜防水 (密着工法: X-2)			改修	高压水洗、下地調整 (C-2) の上ウレタン塗膜防水 (密着工法: X-2)	
外巾木	B	1	既存	コンクリート打放補修の上石調仕上げ塗材 (石綿含有)	1	既存	防水モルタル金ゴテ	鉄部	S	1	既存	SOP塗装		
			改修	既存塗膜除去 (集塵装置付き超高压水施工法 100MPa以上)、水洗い (15MPa)、施工数量調査、下地補修、下地調整材 (C-2)、基礎巾木専用塗料塗り		改修	水洗い (15MPa)			改修	下地調整の上DP塗装			



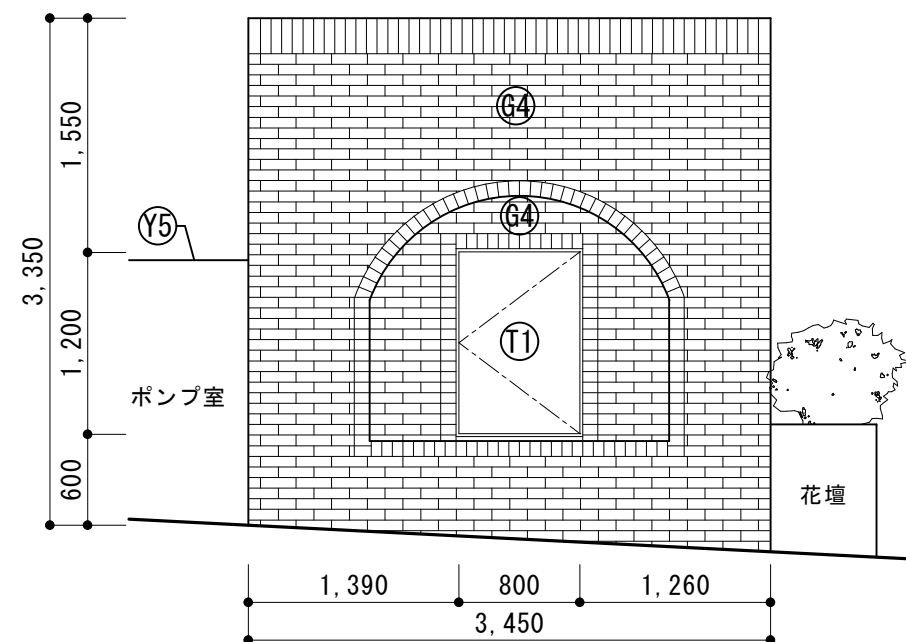
平面図 S = 1 : 50



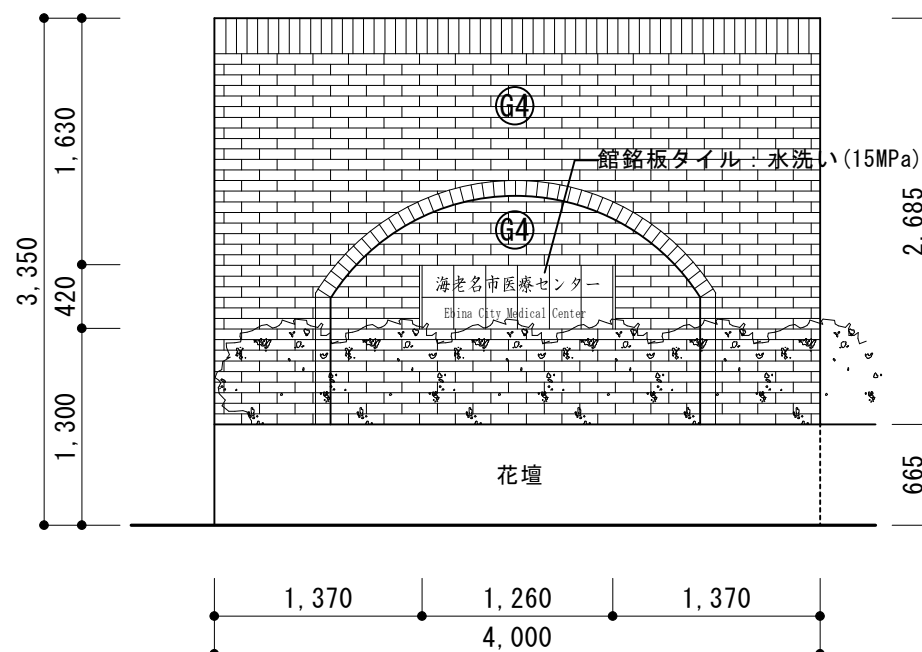
北側立面図 S = 1 : 50



西側立面図 S = 1 : 50

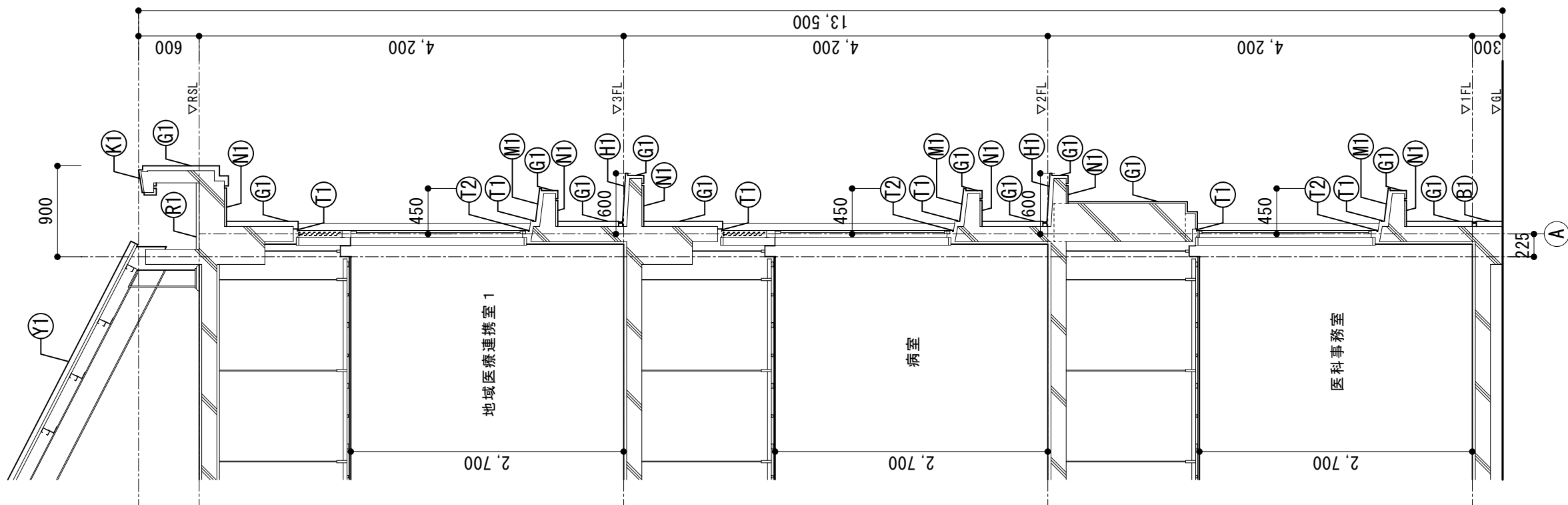
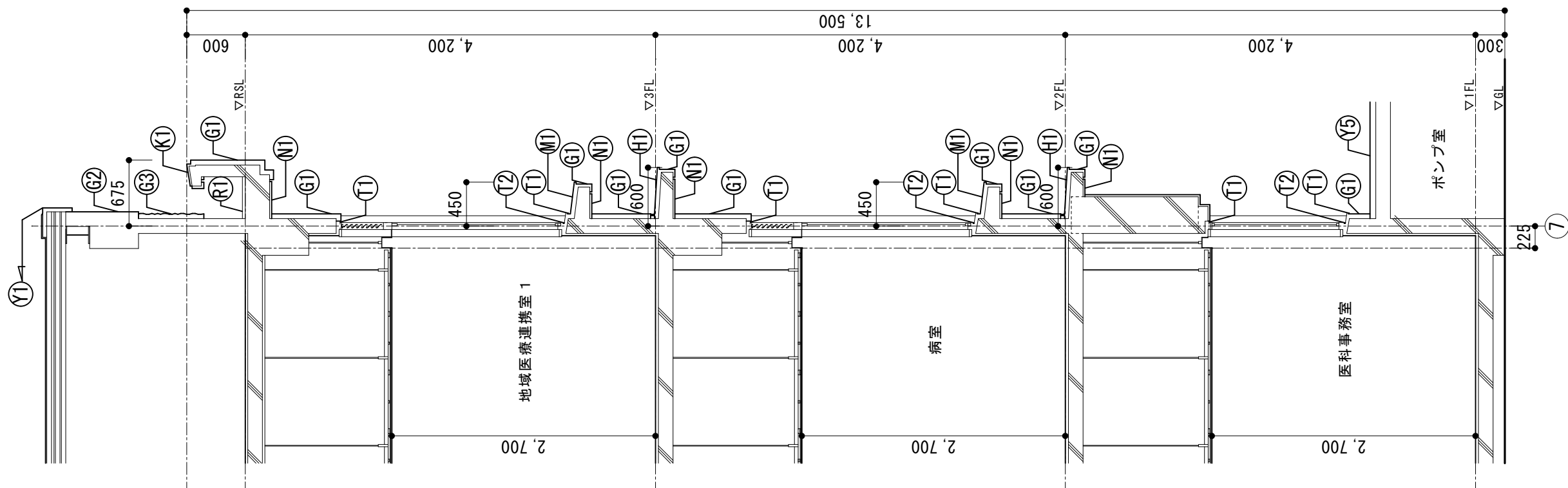


南側立面図 S = 1 : 50



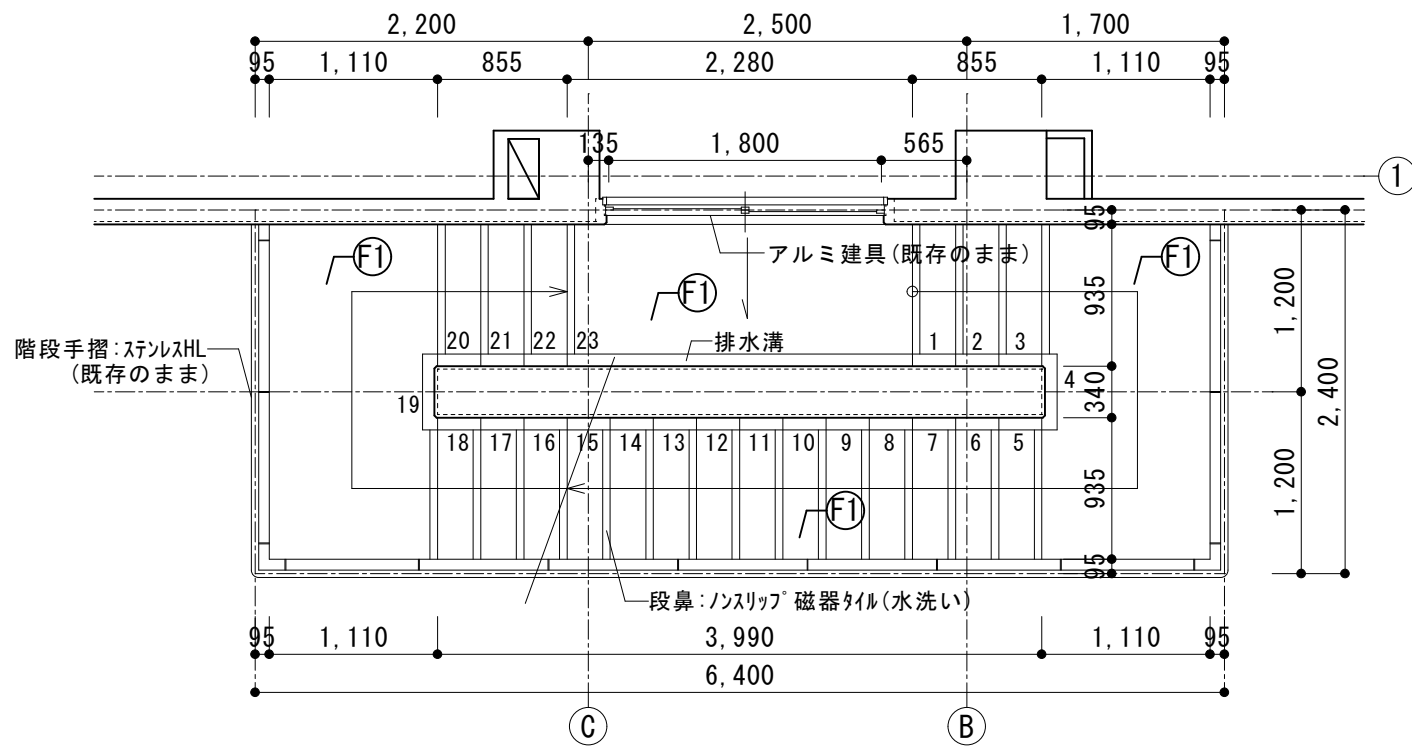
東側立面図 S = 1 : 50

凡例														
部位	記号	番号	仕上げ	部位	記号	番号	仕上げ	部位	記号	番号	仕上げ			
外壁	G	4	既存	磁器タイル（二丁掛）貼	屋根	Y	5	既存	アスファルト防水の上シタ ⁺ -コンクリート厚60	建具	T	1	既存	建具廻りシーリング撤去（4周）
			改修	水洗い（15MPa）、施工数量調査、既存劣化部（20%程度）撤去、樹脂モルタル成形、目地詰め、下地調整材（C-2）、防水形複層塗材E				改修	高圧水洗、下地調整（C-2）の上 ⁺ タ ⁺ 塗膜防水（密着工法：X-2）				改修	変成シリコン（MS-2）15×10

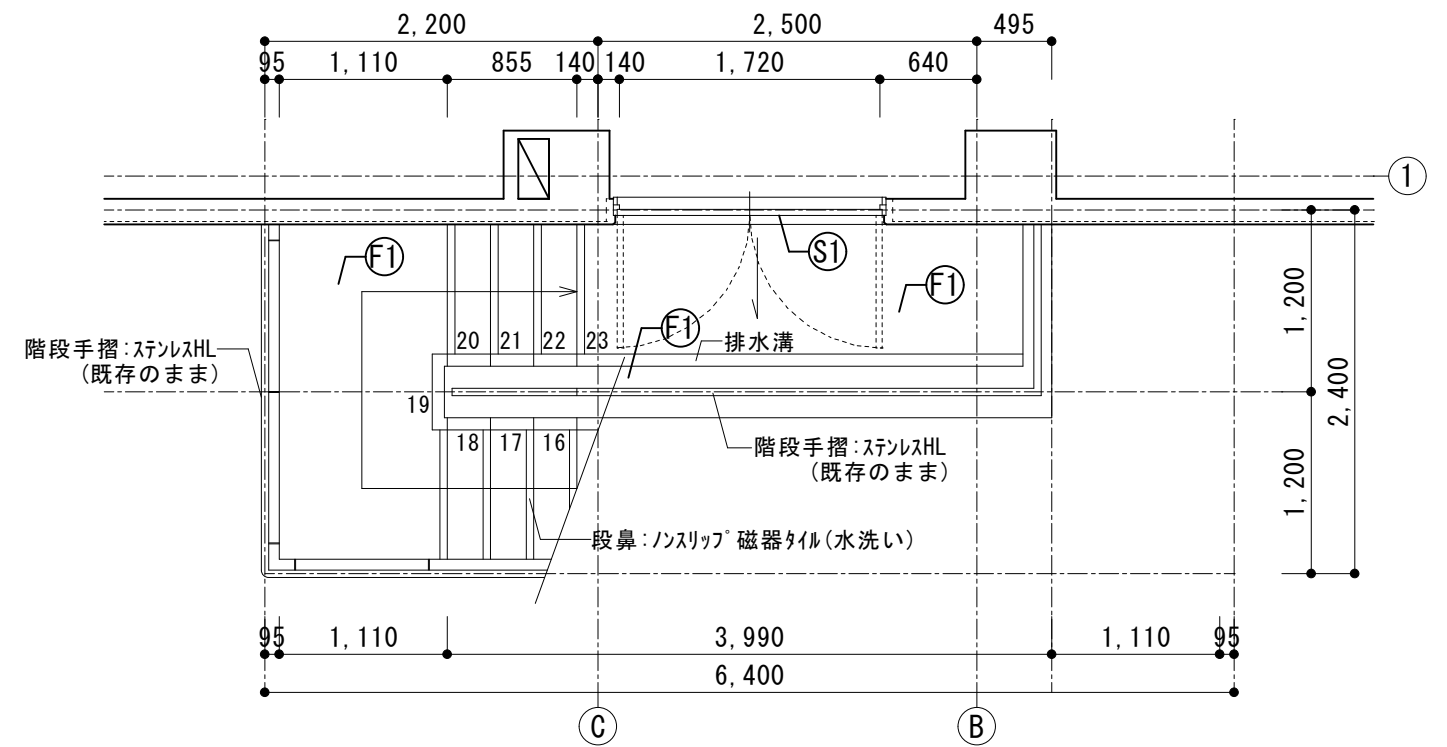


※凡例については仕上表参照

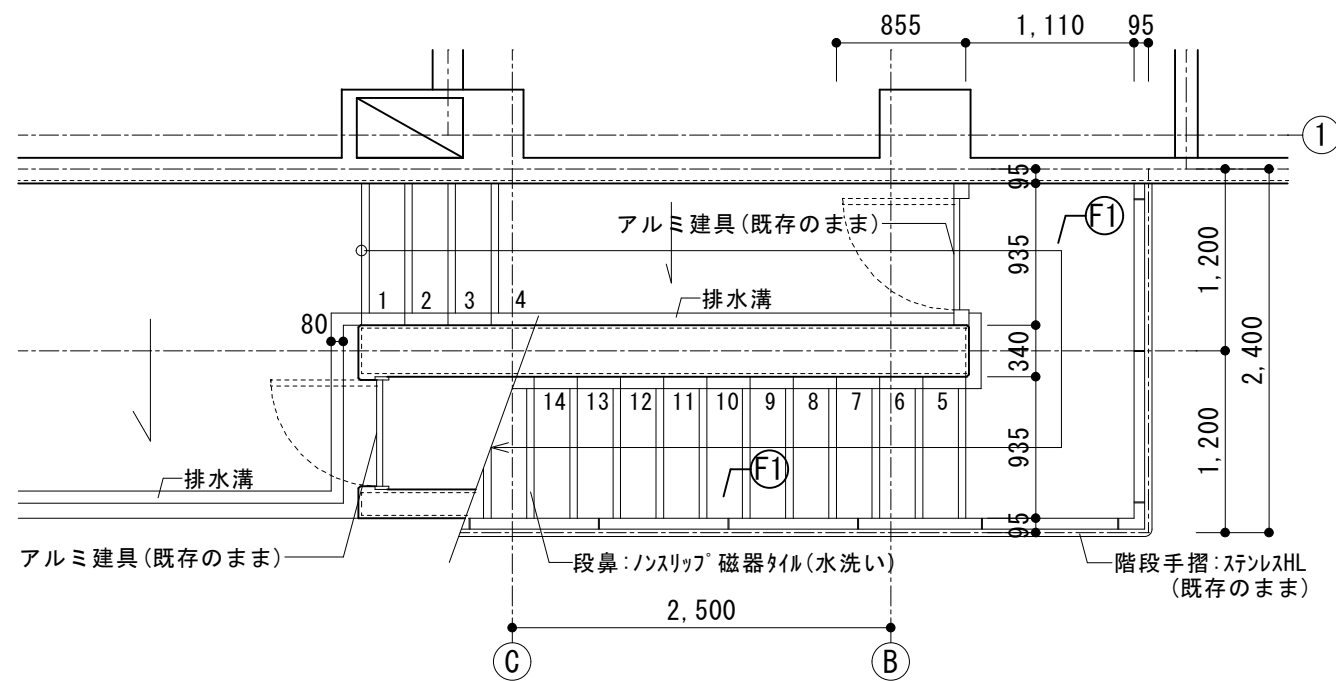
矩計図 S=1:50



2~3階平面詳細図 S=1:50

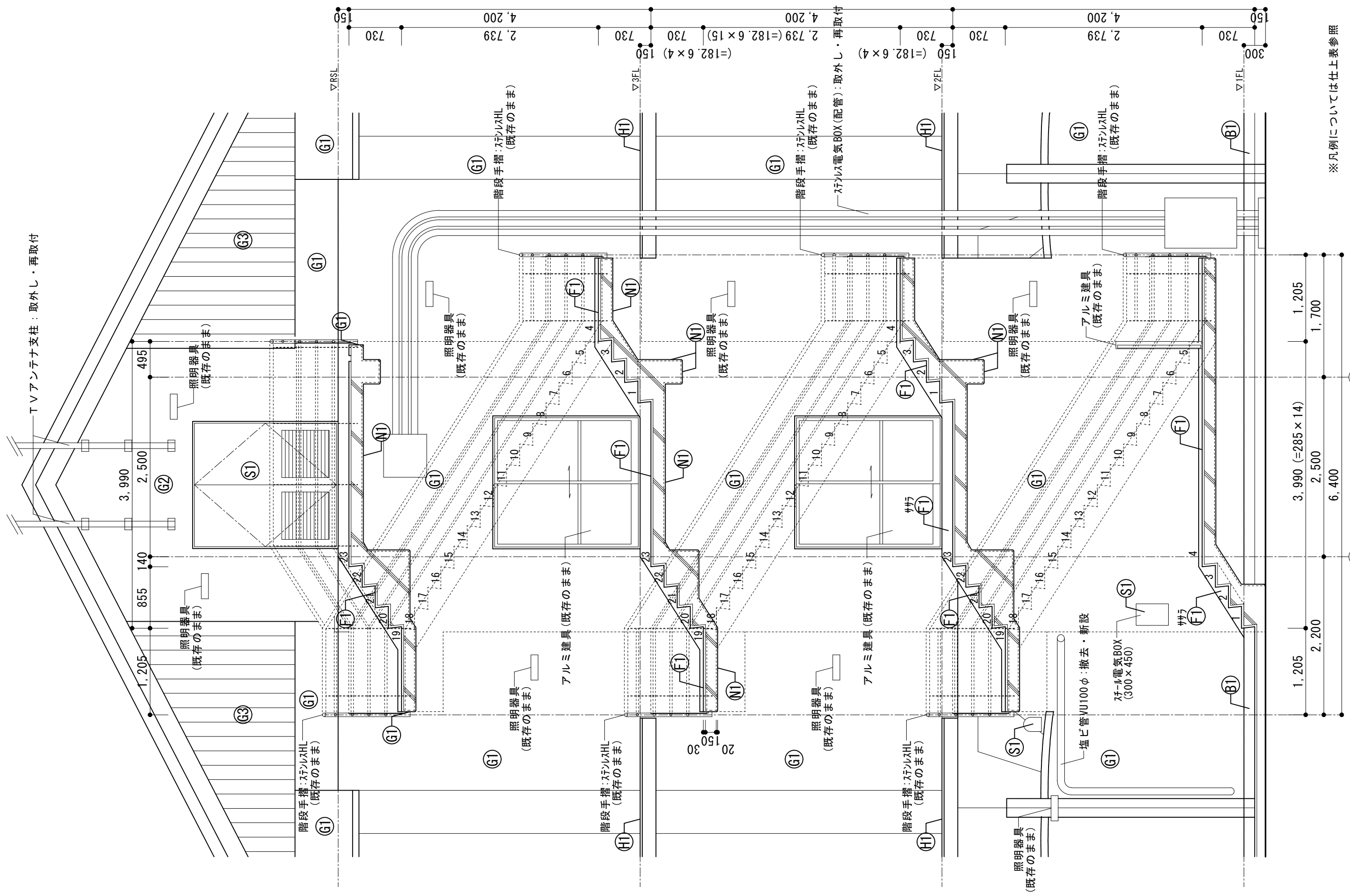


R階平面詳細図 S=1:50



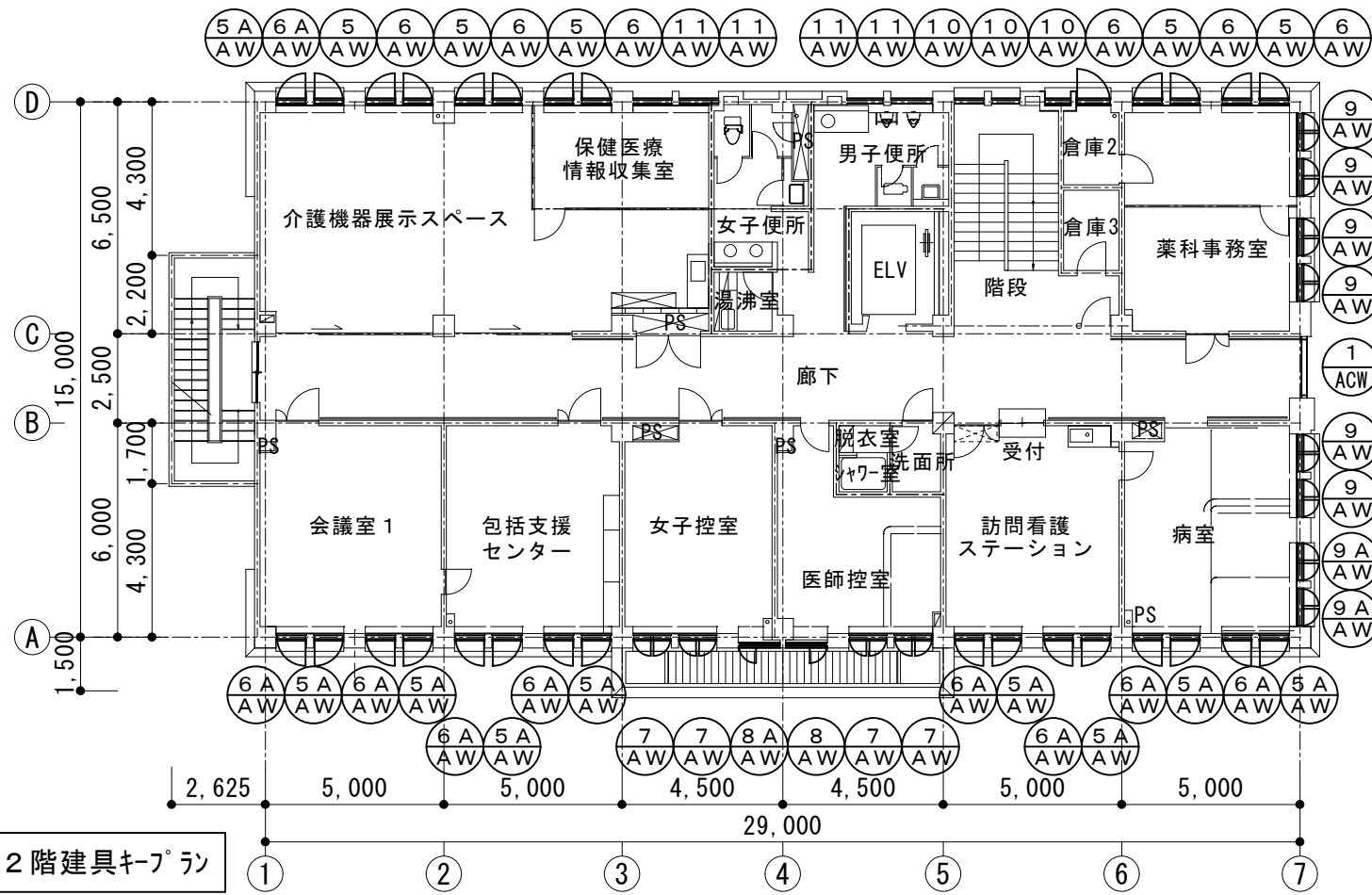
1階平面詳細図 S=1:50

凡例			
部位	記号	番号	仕上げ
階段	F	1	既存 防水モルタル金ゴテ
			改修 水洗い (15MPa)
鉄部	S	1	既存 SOP塗装
			改修 下地調整の上DP塗装

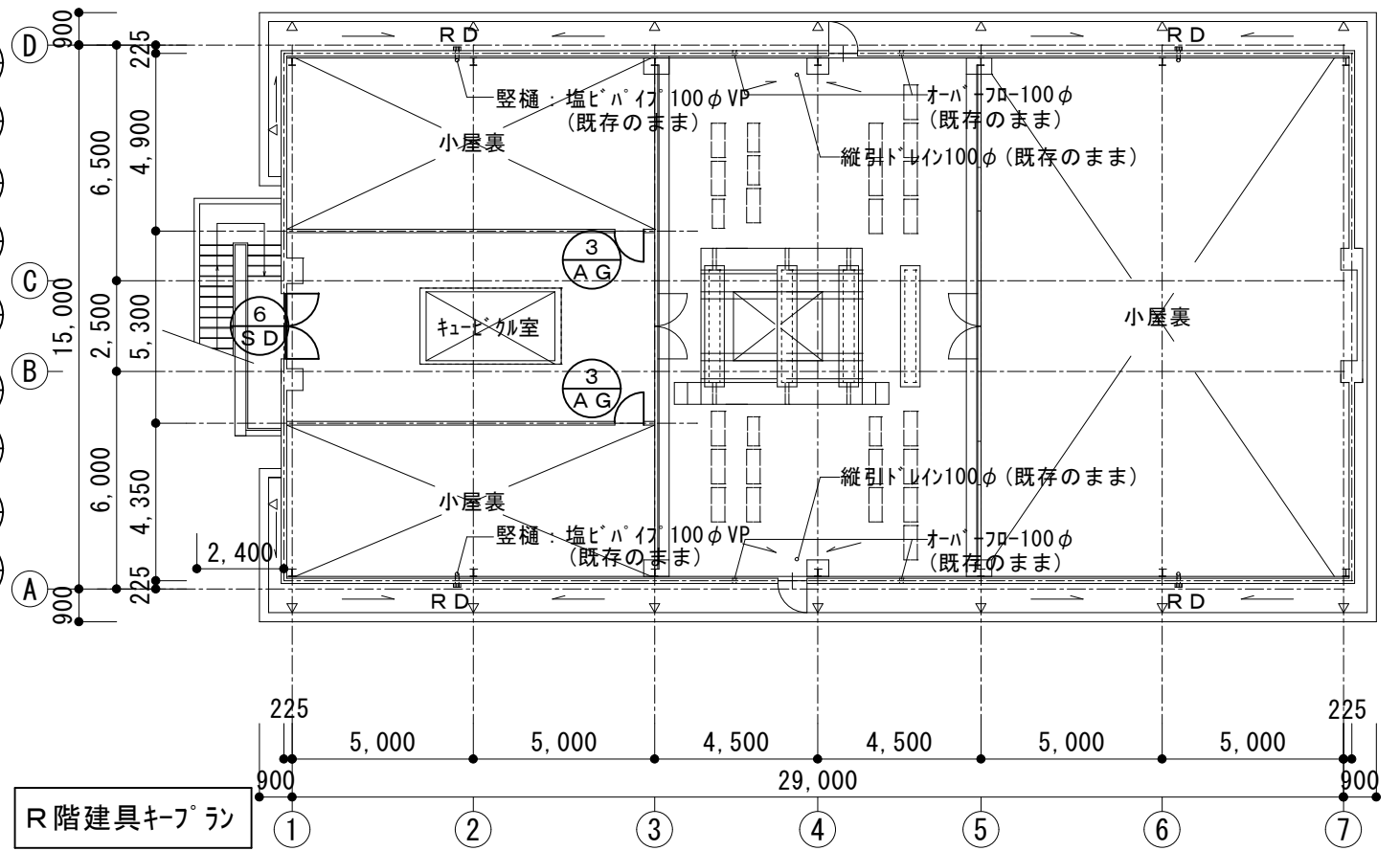


※凡例については仕上表参照

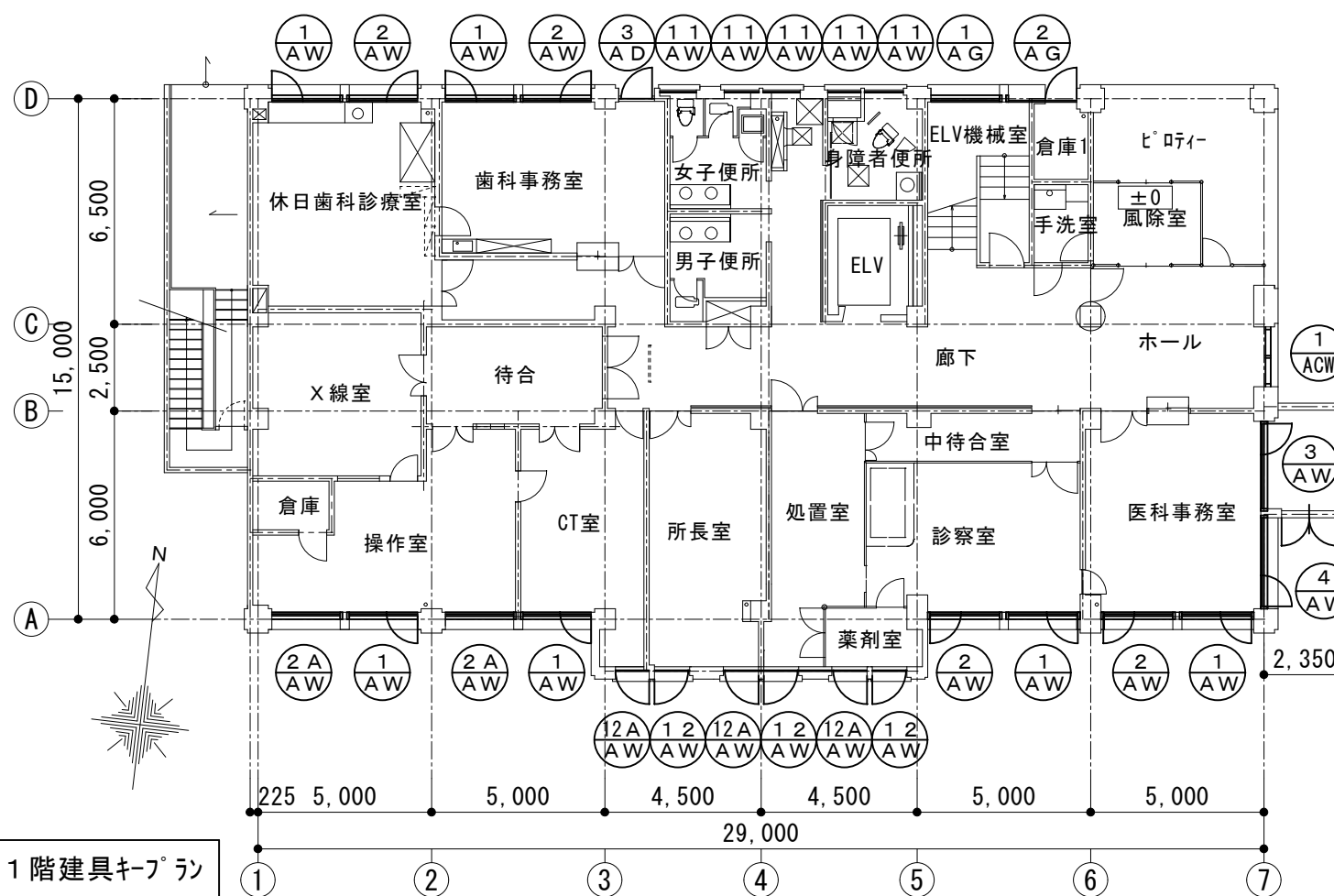
屋外階段断面詳細図 S = 1 : 50



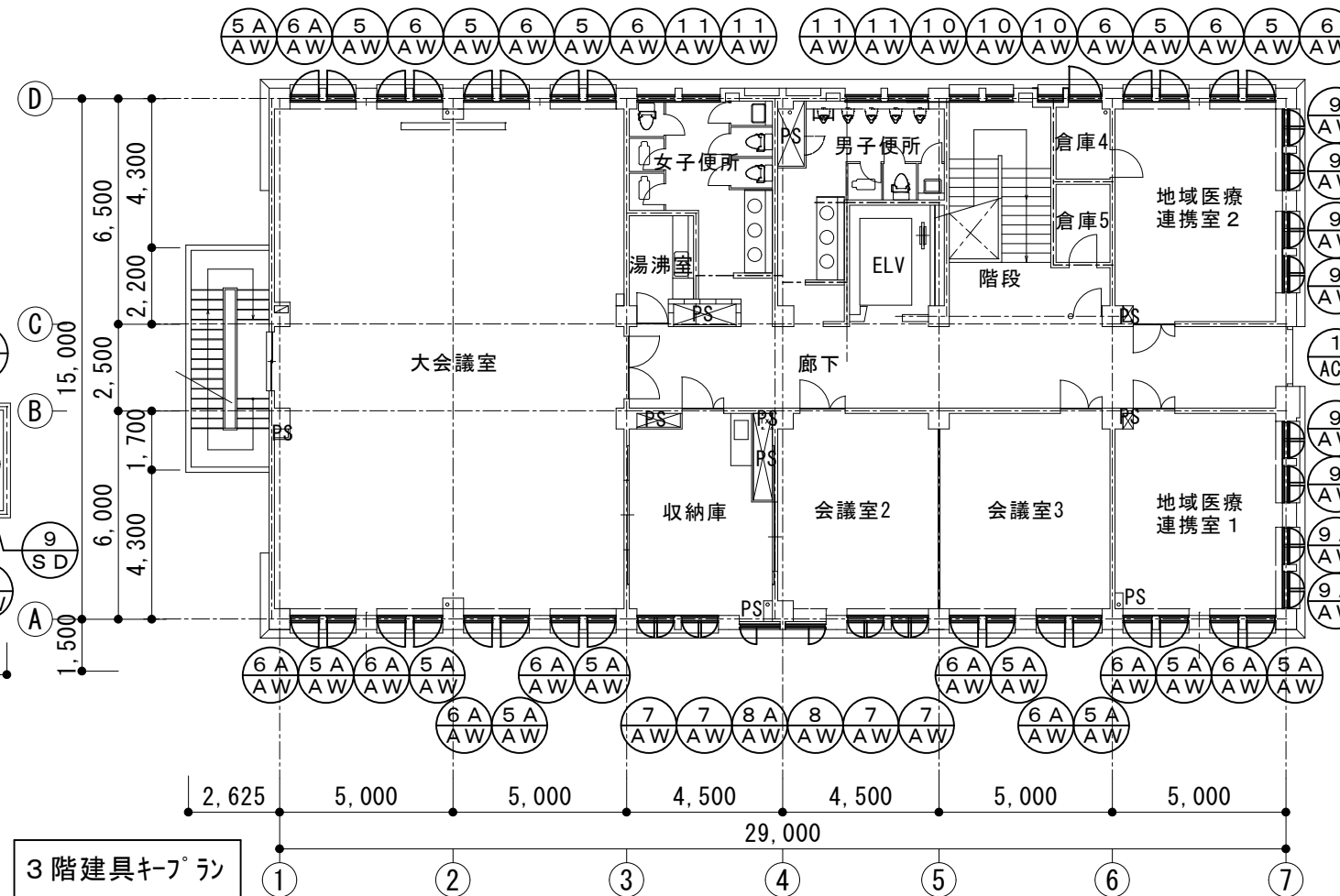
2階建具キープラン



R階建具キープラン



1階建具キープラン



3階建具キープラン

記号	形式	箇所	① AW	F I X 付片開き窓					②	②A	AW	F I X 付片開き窓					③	AW	F I X 付片開き窓					④	AW	F I X 付片開き窓								
				階数	1	2	3	R	合計			階数	1	2	3	R	合計			階数	1	2	3	R	合計			階数	1	2	3	R	合計	
				数量	6	0	0	0	6			数量	6	0	0	0	6			数量	1	0	0	0	1			数量	1	0	0	0	1	
姿図																																		
位置	操作室、CT室、診察室、医科事務室、休日歯科診察室、歯科事務室				操作室、診察室、医科事務室、休日歯科診察室、歯科事務室				医科事務室				医科事務室																					
仕上	アルミ				アルミ				アルミ				アルミ																					
ガラス	透明ガラス厚5.0(既存のまま)				透明ガラス厚5.0(既存のまま)				透明ガラス厚5.0(既存のまま)				透明ガラス厚5.0(既存のまま)																					
改修内容	既存シーリング 撤去の上、4方+水切りシーリング (MS-2) 打替え				既存シーリング 撤去の上、4方+水切りシーリング (MS-2) 打替え				既存シーリング 撤去の上、4方+水切りシーリング (MS-2) 打替え				既存シーリング 撤去の上、4方+水切りシーリング (MS-2) 打替え																					
備考	見込		70		見込		70		見込		70		見込		70																			
記号	形式	箇所	⑤	⑤A	ガラリ付片開き窓					⑥	⑥A	ガラリ付片開き窓					⑦	AW	ガラリ付2連片開き窓					⑧	⑧A	ガラリ・F I X 付片開き窓								
					階数	1	2	3	R	合計			階数	1	2	3	R	合計			階数	1	2	3	R	合計			階数	1	2	3	R	合計
					数量	0	14	14	0	28			数量	0	15	15	0	30			数量	0	4	4	0	8			数量	0	2	2	0	4
姿図																																		
位置	会議室1、包括支援センター、訪問看護ステーション、病室、介護機器展示スペース、保健医療情報収集室、薬科事務室、大会議室、地域医療連携室1・2				倉庫4 (AW-6)				女子控室、医師控室、収納庫、会議室 2				女子控室、医師控室、収納庫、会議室 2																					
仕上	アルミ				アルミ				アルミ				アルミ																					
ガラス	AW-5 : 透明ガラス厚5.0(既存のまま) AW-5A : 網入り透明ガラス厚6.8(既存のまま)				AW-6 : 透明ガラス厚5.0(既存のまま) AW-6A : 網入り透明ガラス厚6.8(既存のまま)				網入り透明ガラス厚6.8(既存のまま)				AW-8 : 透明ガラス厚5.0(既存のまま) AW-8A : 網入り透明ガラス厚6.8(既存のまま)																					
金物	既存シーリング 撤去の上、4方+水切りシーリング (MS-2) 打替え				既存シーリング 撤去の上、4方+水切りシーリング (MS-2) 打替え				既存シーリング 撤去の上、4方+水切りシーリング (MS-2) 打替え				既存シーリング 撤去の上、4方+水切りシーリング (MS-2) 打替え																					
備考	見込		AW-5A: 防火設備		見込		70		見込		70		防火設備		見込		70		防火設備		見込		70											

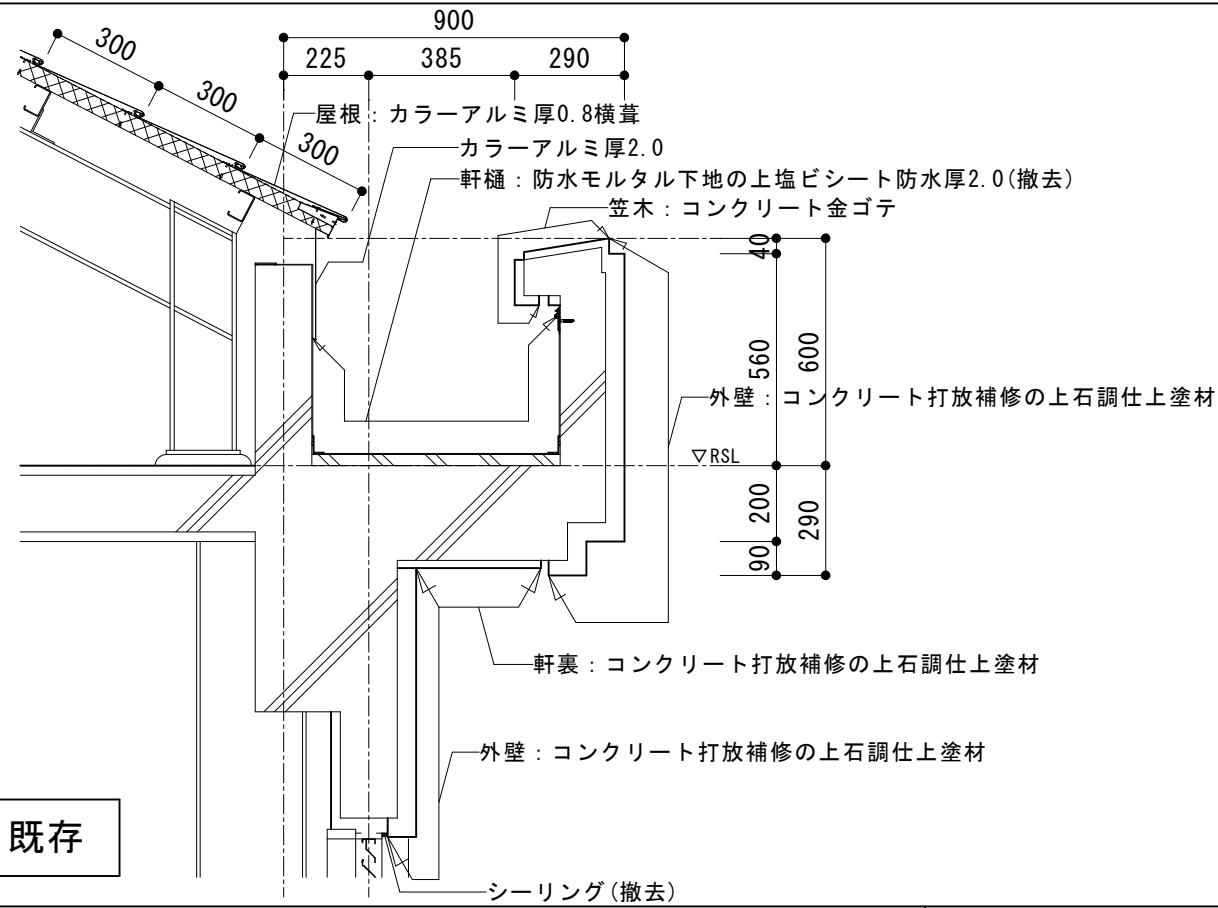
記号	形式	箇所	9 AW	9A AW	ガラリ・FIX付片開き窓	10 AW	ガラリ付FIX窓	11 AW	ガラリ付外倒し窓+ガラスブロック	1 ACW	カーテンウォール														
			階数	1	2	3	R	合計	階数	1	2	3	R	合計	階数	1	2	3	R	合計					
			数量	0	8	8	0	16	数量	0	3	3	0	6	数量	5	4	4	0	13	数量		1	0	1
姿図																									
位置	病室、薬科事務室、地域医療連携室1・2					階段室					男子・女子便所、廊下、身障者便所、保健医療情報収集室														
仕上	アルミ					アルミ					アルミ														
ガラス	AW-9:透明ガラス厚5.0(既存のまま) AW-9A:網入り透明ガラス厚6.8(既存のまま)					透明ガラス厚5.0(既存のまま)					透明ガラス厚5.0(既存のまま)、145角ガラスブロック														
改修内容	既存シーリング撤去の上、4方+水切りシーリング(MS-2)打替え					既存シーリング撤去の上、4方+水切りシーリング(MS-2)打替え					既存シーリング撤去の上、4方+水切りシーリング(MS-2)打替え														
備考	見込			防火設備		見込			70		見込			70		見込			100						
記号	形式	箇所	12 AW	12A AW	ガラリ付片開き窓	3 AD	ガラリ付外倒し窓+片開きドア																		
			階数	1	2	3	R	合計	階数	1	2	3	R	合計											
			数量	6	0	0	0	6	数量	1	0	0	0	1											
姿図																									
位置	CT室、所長室、処置室、薬剤室					歯科事務室																			
仕上	アルミ					アルミ																			
ガラス	網入り透明ガラス厚6.8(既存のまま)					網入り透明ガラス厚6.8(既存のまま)																			
金物	既存シーリング撤去の上、4方+水切りシーリング(MS-2)打替え					既存シーリング撤去の上、4方+水切りシーリング(MS-2)打替え																			
備考	見込			防火設備		見込			70		見込			70		見込			100						

記号	形式	箇所	① AG	ガラリ窓					②	②A	AG	ガラリ付片開きドア					③	AG	ガラリ片開きドア										
			階数		1	2	3	R	合計				階数		1	2	3	R	合計										
			数量		1	0	0	0	1				数量		1	0	0	0	1										
姿図																													
			位置	E L V機械室								E L V機械室、倉庫 1							キュービクル室										
			仕上	アルミ								アルミ							アルミ										
			ガラス	—								—							—										
			改修内容	既存シーリング 撤去の上、4方+水切りシーリング (MS-2) 打替え								既存シーリング 撤去の上、4方+水切りシーリング (MS-2) 打替え							撤去・新設										
備考	見込							見込		100			見込		100			見込		70									
記号	形式	箇所	⑥	両開きスチールドア					⑨	SD	両開きスチールドア																		
			階数		1	2	3	R	合計				階数		1	2	3	R	合計										
			数量		0	0	0	1	1				数量		1	0	0	0	1										
姿図																													
			位置	E L V機械室								ポンプ室																	
			仕上	スチール：既存下地調整の上、DP塗装								スチール：既存下地調整の上、DP塗装																	
			ガラス	—								—																	
			金物	既存シーリング 撤去の上、4方シーリング (MS-2) 打替え								既存シーリング 撤去の上、4方シーリング (MS-2) 打替え																	
備考	見込							扉		40			扉		40														

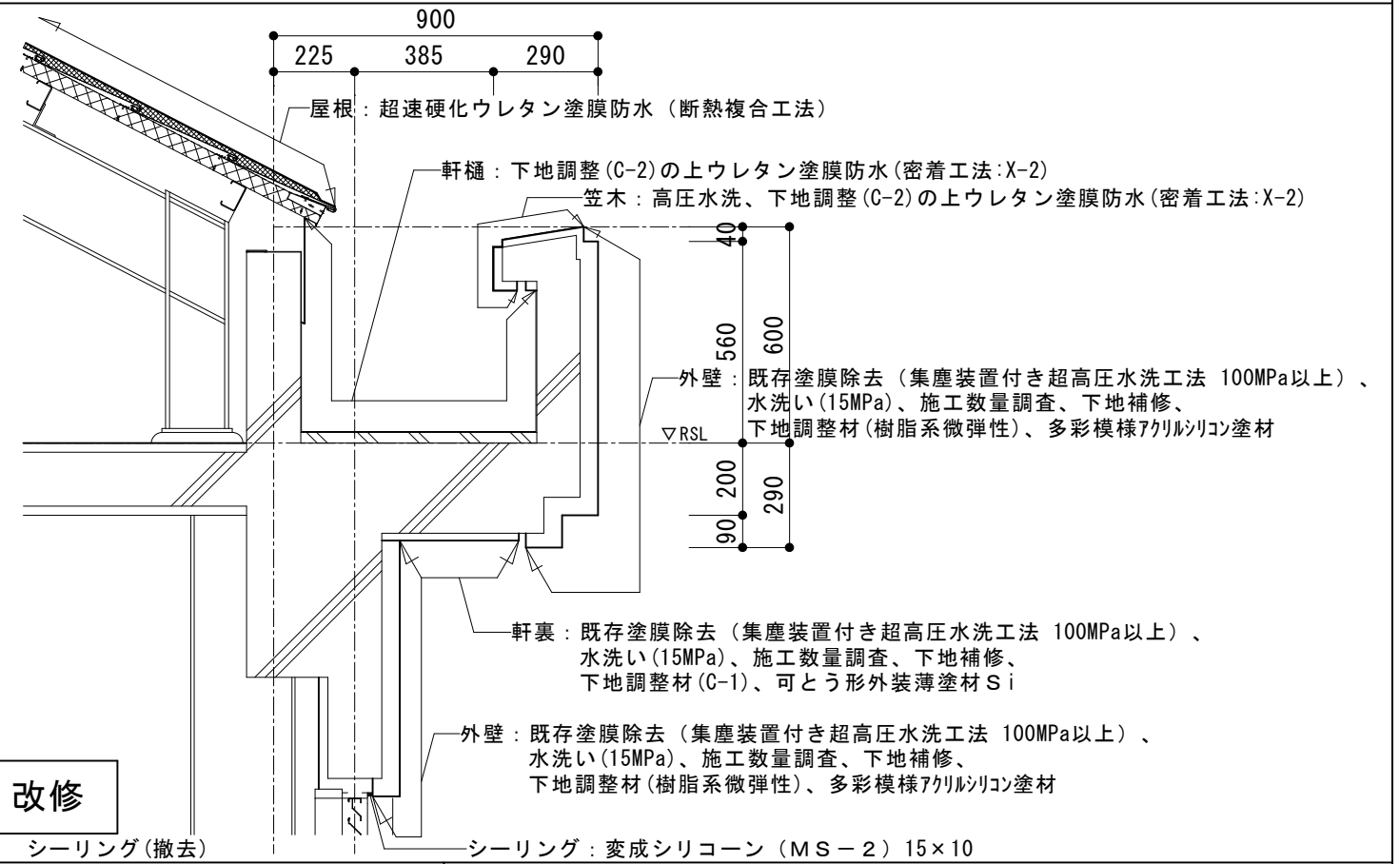


軒樋詳細図

S = 1 / 2 0



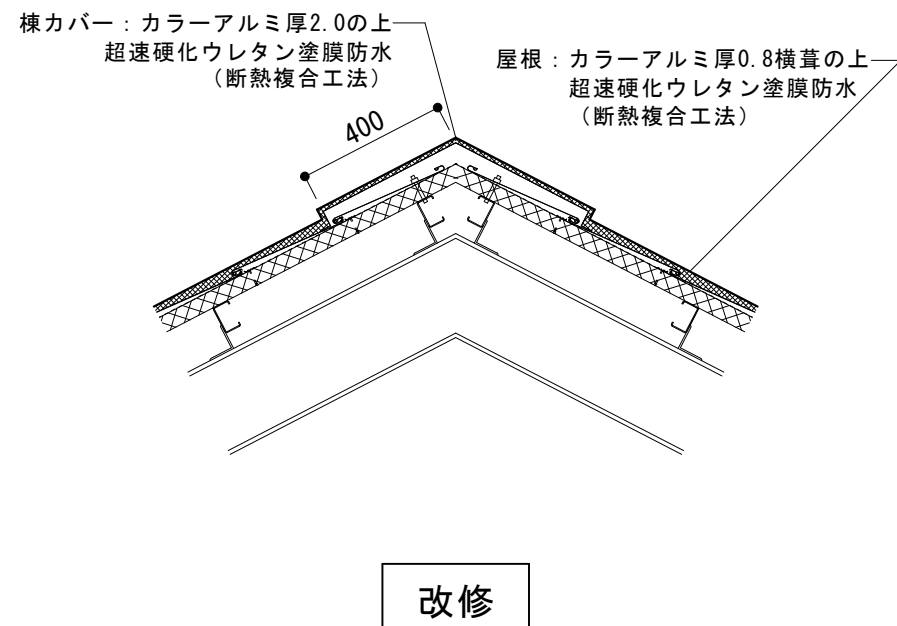
既存



改修

棟詳細図(一般部)

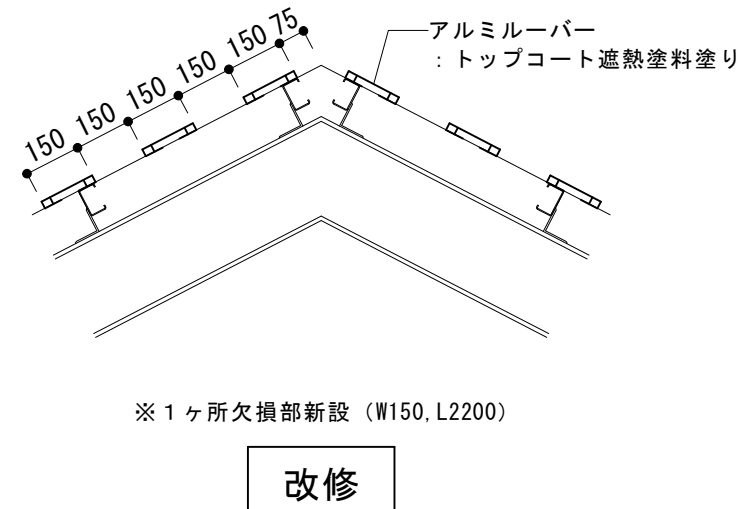
S = 1 / 2 0



改修

棟詳細図(ルーバー部)

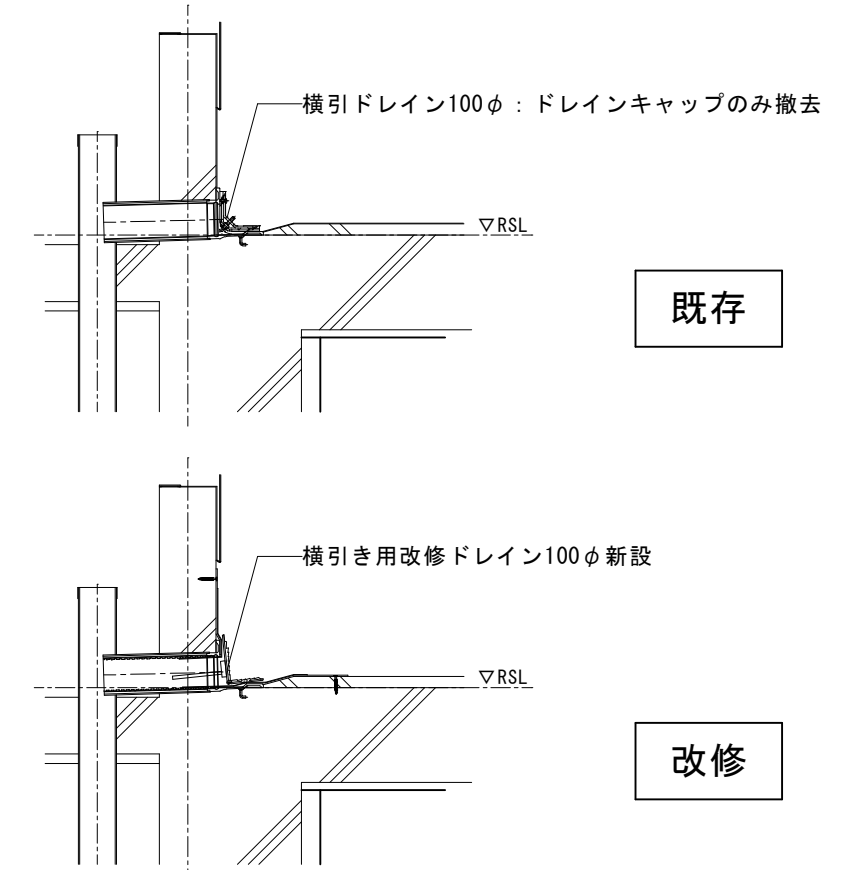
S = 1 / 2 0



改修

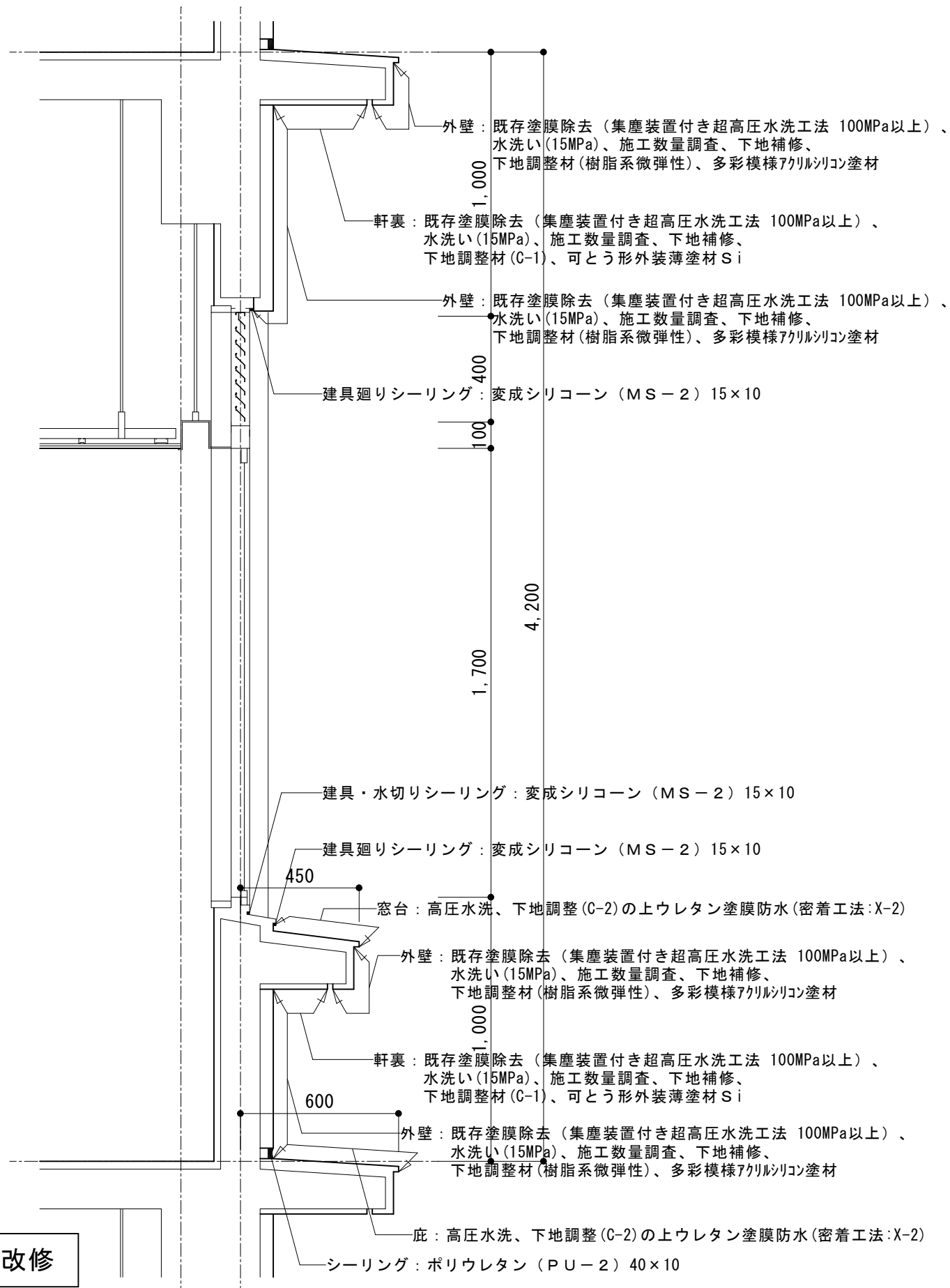
ドレイン廻り詳細図

S = 1 / 2 0

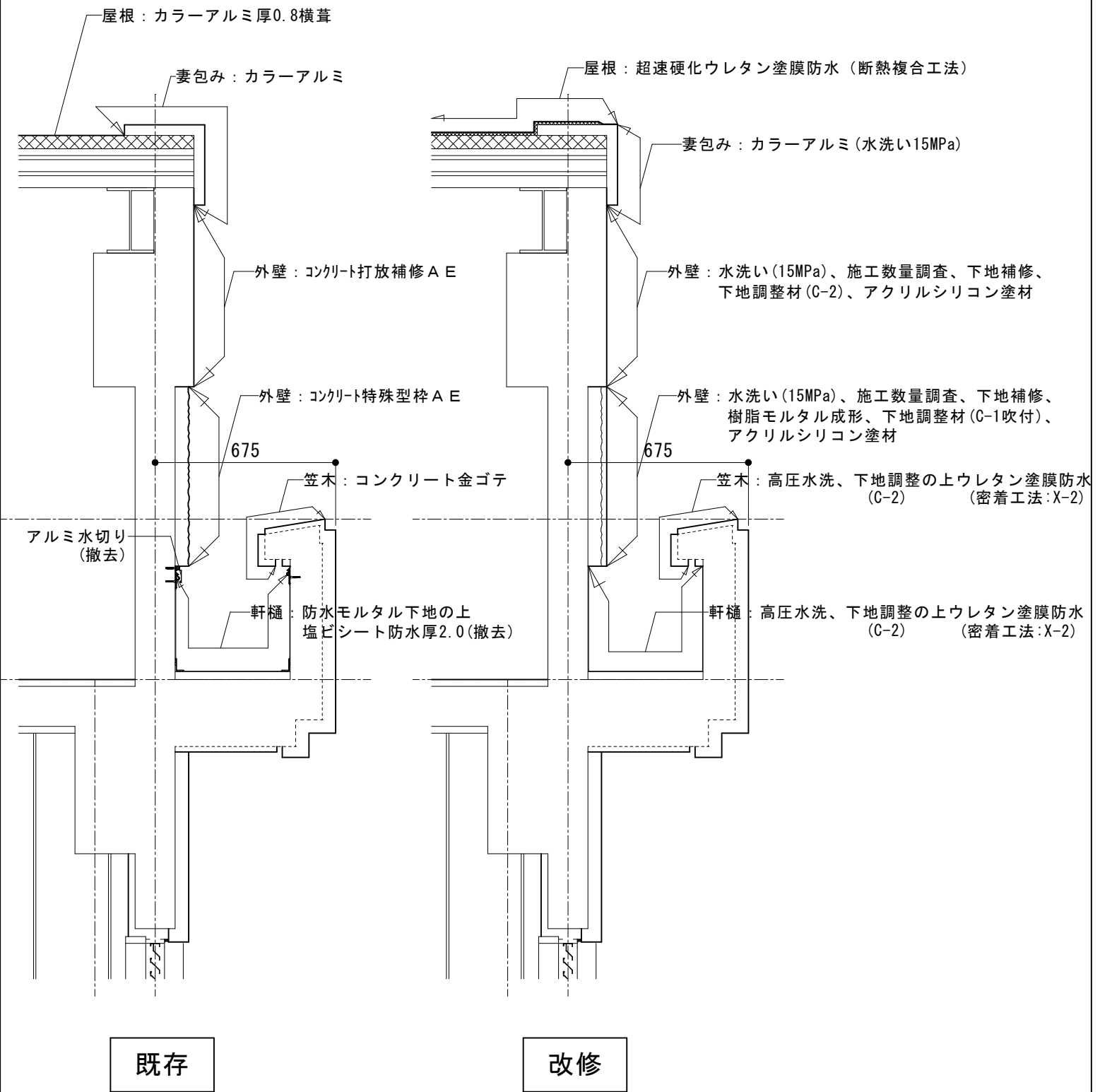


既存

改修



改修



仮設計画凡例(参考)

	仮囲い ガードフェンス(H=1800) 計110m
	仮囲い 金網式養生柵(H=1800) 5.7m (受水槽東側)
	枠組本足場(手すり先行方式) W900 H=15,600(桁行方向) 枠組本足場(手すり先行方式) W900 H=17,300(妻側方向) 養生シート、幅木、中さん、小幅柵、安全手すり共
	枠組本足場(手すり先行方式) W600 養生シート、幅木、中さん、小幅柵、安全手すり共
	朝顔養生(1ヶ所) ・利用者出入口部分に設置
	交通誘導員 ・足場仮設搬出入時
	利用者出入口(1ヶ所)
	植栽撤去: サツキ(540株)、撤去後は除草シート設置 ※西側隣地駐車場部分の植栽は撤去・新設
	中木撤去: 幹周50φ、樹高H1300(17本)

※工事ヤードの範囲については監督員と調整を行うこと。

※現場事務所は建物内3Fの一室を利用

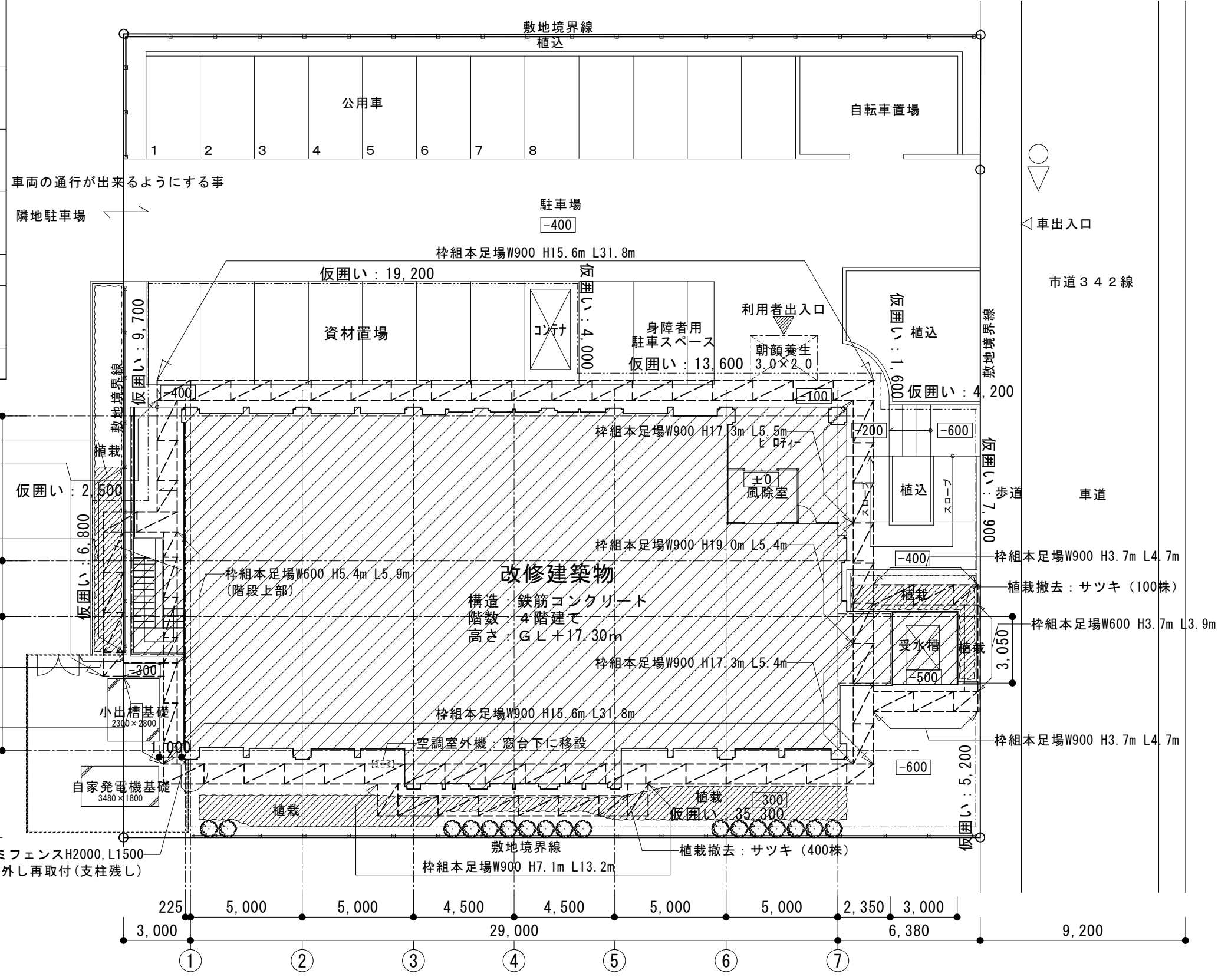
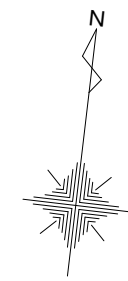
植栽撤去・新設: サツキ(40株)
枠組本足場W900 H17.3m L15.7m

メッシュフェンスH1300, L8300
: 取外し再取付(支柱残し)

アルミフェンスH2000, L2000
: 取外し再取付(支柱残し)

アルミフェンスH2000, L1500
: 取外し再取付(支柱残し)

枠組本足場W600 H17.3m L6.4m



仮設計画図(参考) S=1:200

: 工事範囲を示す